

【資料 1－2】

令和 7 年度第 1 回総合計画審議会

第 3 次山武市総合計画 令和 6 年度施策・基本事業評価結果

目 次

【施策・基本事業評価結果】

政策 1	暮らしを支える快適なまちづくり・・・・・・・・・・	1
政策 2	住みやすい環境と安全なまちづくり・・・・・・・・・・	17
政策 3	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり・・・・・・・・・・	41
政策 4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・	59
政策 5	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり・・・・・・・・・・	93
政策 6	市民と行政が協働してつくるまちづくり・・・・・・・・・・	119

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・駅周辺の市街地においても、人口減少が進んでいることから、駅の交通結節機能を活かした魅力と賑わいを形成するため、駅周辺の都市計画道路の整備を促進します。その他の地域は、人口減少に伴い増加する空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成を図ります。

・国・県道などの幹線道路については、交通混雑の緩和や歩行空間の確保が求められており、関係機関と連携し整備促進を図ります。

・生活道路の整備については、児童・生徒の通学時の安全確保の重要性が高まっています。また、成田空港の機能強化に伴い、成田空港へのアクセスの向上が求められていることから、産業振興を視野に入れた整備促進を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度(%)	成果	57	58.1	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)(km)	成果	1.65	3.24	☀ (横ばい)	☂ (低下)	○
01	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	4	5	☂ (低下)	☂ (低下)	○
02	成田空港関連事業実施箇所数(計画期間累計)(箇所)	成果	23	84	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)(%)	成果	64.3	61.1	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
04	遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)(箇所)	成果	0	2	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	空家改善数(計画期間累計)(件)	成果	29	41	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
05	景観条例指導件数(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
06	交通安全施設設置等による危険解消箇所数(計画期間累計)(箇所)	成果	5	17	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

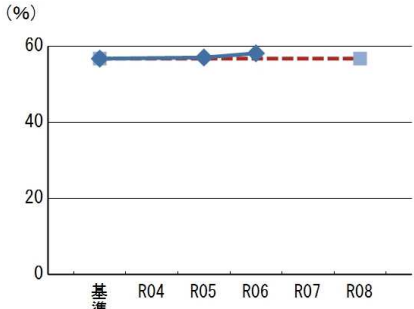
政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 市全域	地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

施策の成果状況と評価

指標	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【土木課】	%	56.7	57	58.1	56.7	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度は 58.1%で、基準値と比較して1.4ポイント増加、前年度と比較して1.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 松尾駅前排水対策工事を実施していることや、成東駅南側駅前広場が整備され快適性が向上したことが要因と考えます。		 (%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08				対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 道路・橋りょうの整備・維持管理

基本事業 02 成田空港周辺地域としての基盤整備

基本事業 03 駅周辺の利便性の向上

基本事業 04 公園の再整備と適正な管理

基本事業 05 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

基本事業 06 交通安全施設の整備

基本事業01 道路・橋りょうの整備・維持管理

指標	道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【土木課】	Km	0	1.65	3.24	8	☀️ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)は3.24kmで、基準値と比較して3.24km増加、前年度と比較して1.59km増加しました。 < 原因 > 南郷85号線など地元からの要望(33箇所)の整備などを実施したことで、道路網の整備が順調に進んでいることが要因です。						☀️ (横ばい)
							☀️ (横ばい)

基本事業01 道路・橋りょうの整備・維持管理

指標	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【土木課】	件	1	4	5	0	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数は5件で、基準値と比較して4件増加、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 道路の老朽化に伴い、維持・修繕箇所は増加傾向にあり、道路パトロール等により道路状況を把握に努めていましたが、安全性の確保が出来なかったことが要因と考えられます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)

基本事業02 成田空港周辺地域としての基盤整備

指標	成田空港関連事業実施箇所数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【土木課】	箇所	0	23	84	148	☀️ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の成田空港関連事業実施箇所数(計画期間累計)は84箇所、基準値と比較して84件増加、前年度と比較して61件増加しました。 < 原因 > 成田空港周辺地域としての基盤整備は順調に進んでいることが要因と考えられます。(工事32件、測量29件)						☀️ (横ばい)
							☀️ (横ばい)

基本事業03 駅周辺の利便性の向上

指標	駅周辺の利便性に対する満足度(駅利用者のみ)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	%	62	64.3	61.1	64	☁️ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の駅周辺の利便性に対する満足度は61.1%で、基準値と比較して0.9ポイント低下、前年度と比較して3.2ポイント低下しています。 < 原因 > 成東地域では、成東駅南側駅前広場が整備され利便性が向上していることから、一定数の満足度が得られていると考えます。その他の地域は、駅前の利用方法や活用方法等が駅利用者のニーズに対応できていないことが、満足度が低下した要因と考えます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公園の再整備と適正な管理

指標	遊具設置等の再整備をした公園数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【都市整備課】	箇所	0	0	2	4	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の遊具設置等の再整備をした公園数は2箇所で、基準値と比較して2箇所増加、前年度と比較して2箇所増加しました。 < 原因 > さんぶの森公園及び成東総合運動公園で、遊具(各2基づつ)を設置したことが要因と考えます。	(箇所)					☀ 対 前年度 (向上) ☀ 達成 状況 ■■ (中)

基本事業04 公園の再整備と適正な管理

指標	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【都市整備課】	件	0	1	0	0	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数は0件で、基準値と比較して同値、前年度と比較して1件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 予防保全に努め、遊具の破損等を未然に防ぐことができたことが要因と考えます。	(件)					☀ 対 前年度 (向上) ☀ 達成 状況 ■■ (達成)

基本事業05 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	空家改善数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【都市整備課】	件	0	29	41	68	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の空家改善数(計画期間累計)は41件で、基準値と比較して41件増加、前年度と比較して12件増加しました。 < 原因 > 空家所有者への適正管理に対する助言書の通知や、民間事業者と協定を締結し、官民連携による啓発(資産価値判定システムの提供等)を実施したことにより、空家の適正管理に対する所有者意識が高まり、空家の改善に繋がったことが要因と考えます。	(件)					☀ 対 前年度 (横ばい) ☀ 達成 状況 ■■ (中)

基本事業05 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	景観条例指導件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【都市整備課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の景観条例指導件数は0件となり、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 事前協議の段階で届出者との調整を丁寧に行っていることで、景観条例を逸脱するような行為を未然に防ぐことができ、指導にまで至らなかったことが原因と考えられます。	(件)					☀ 対 前年度 (向上) ☀ 達成 状況 ■■ (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業06 交通安全施設の整備

指標	交通安全施設設置等による危険解消箇所数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		箇所	0	5	17	32	
評価	< 状況 > 令和6年度の交通安全施設設置等による危険解消箇所数(計画期間累計)は17箇所となりました。基準値と比較して17箇所増加、前年度と比較して7箇所増加しました。 < 原因 > 通学路安全プログラム(合同点検)等で危険と診断された箇所や、見通しの悪い交差点等、順次整備したことが要因と考えます。	(箇所)					(横ばい)
							対 前年度
							達成 状況
							■■ (中)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・人口減少及び少子高齢化（令和 6 年 4 月 1 日現在、高齢化率37.6%）が急激に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあるため、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。
- ・市内の移動に係る公共交通については、市内 3 区域内を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、持続可能な公共交通の確立を目指します。
- ・市外の移動に係る公共交通については、人口減少等の影響により鉄道及び路線バスの利用者が減少していますが、利用の促進等、運行会社と連携し維持・存続を図ります。
- ・本計画期間では、令和 5 年度中に策定した地域公共交通計画（計画期間：令和 6 年度から10年度）に沿って、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりに計画的に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公共交通網の満足度 (%)	成果	41.1	42.7	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
市内移動の交通手段に困っている市民の割合 (%)	成果	39.2	41.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内公共交通利用者数 (基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等) (人)	代替	130,356	126,242	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
01	バス運行状況の満足度 (%)	成果	40	39.8	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	成田空港方面への年間バス利用者数 (人)	成果	20,222	19,871	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
03	1日当たりの鉄道利用者数 (人)	代替	3,961		---	---	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 02 持続可能な公共交通網の整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 交通事業者	・ 公共交通機関の特性を活かし、市民生活の移動手段が確保され、移動の利便性が高まります。

施策の成果状況と評価

指標	公共交通網の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
	【企画政策課】	%	45.1	41.1	42.7	46	☂ (低下)																					
評価	< 状況 > 令和 6 年度の公共交通網の満足度は42.7%であり、基準値と比較して2.4ポイント減少、前年度と比較して1.6ポイント増加しました。 < 原因 > J R 東日本のダイヤ改正により、特急電車が大幅に減少したことや、2024年問題に起因する運転手不足等の影響により、成東車庫からの東京駅や千葉駅行きの高速バス等が減便されたことが、要因として考えられます。			<table><caption>公共交通網の満足度実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>45.1</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td><td>41.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>-</td><td>42.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>-</td><td>44.3</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td><td>46.0</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>47.6</td></tr></tbody></table>			年度	基準値	実績値	基準	45.1	-	R04	-	41.1	R05	-	42.7	R06	-	44.3	R07	-	46.0	R08	-	47.6	対 前年度
							年度	基準値	実績値																			
							基準	45.1	-																			
							R04	-	41.1																			
R05	-	42.7																										
R06	-	44.3																										
R07	-	46.0																										
R08	-	47.6																										
	☀ (横ばい)																											
	達成 状況																											
	■■■ (低)																											

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
	【企画政策課】	%	37.7	39.2	41.2	37.7	☂ (低下)																					
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市内移動の交通手段に困っている市民の割合は41.2%であり、基準値と比較して3.5ポイント増加、前年度と比較して2.0ポイント増加しました。 < 原因 > アンケート結果では、地域別で成東38.5%、山武45.9%、蓮沼35.0%、松尾43.2%で山武・松尾地域の割合が高くなっています。また、年齢別では10歳代が72.0%、職業別では学生が74.7%と割合が高くなっていることから、通学などへの若年層の交通手段確保に配慮した取り組みが不十分であることが要因であると考えられます。			<table><caption>市内移動の交通手段に困っている市民の割合実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>37.7</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td><td>39.2</td></tr><tr><td>R05</td><td>-</td><td>41.2</td></tr><tr><td>R06</td><td>-</td><td>39.8</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td><td>37.7</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>35.7</td></tr></tbody></table>			年度	基準値	実績値	基準	37.7	-	R04	-	39.2	R05	-	41.2	R06	-	39.8	R07	-	37.7	R08	-	35.7	対 前年度
							年度	基準値	実績値																			
							基準	37.7	-																			
							R04	-	39.2																			
R05	-	41.2																										
R06	-	39.8																										
R07	-	37.7																										
R08	-	35.7																										
	☁ (横ばい)																											
	達成 状況																											
	■■■ (低)																											

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内における交通手段の確保

基本事業 02 バスでの成田空港方面へのアクセス向上

基本事業 03 鉄道の利便性向上

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	市内公共交通利用者数（基幹バス、乗合タクシー、運行支援路線バス等）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【企画政策課】	人	124,803	130,356	126,242	126,000	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の市内公共交通利用者数は126,242人であり、基準値と比較して1,439人増加、前年度と比較して4,114人減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 乗合タクシーの利用者数は、60人減少しましたが、基幹バス利用者数が234人増加し、前年度同様に好調であることが一番の要因となっています。ただし、民間事業者が運行している八街線の利用者数は、通学で利用していた児童数の減少に伴い、4,499人の減少となっています。						(対前年度)
							☁ (横ばい)
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	バス運行状況の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【企画政策課】	%	41.8	40	39.8	50	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のバス運行状況の満足度は39.8%であり、基準値と比較して2.0ポイント減少し、前年度と比較し0.2ポイント減少しました。 < 原因 > 運転手不足に起因するダイヤ見直し等の影響により、民間事業者が運行する路線バスである千葉線及び高速バスであるフラワーライナーとシーサイドライナーが減便されたことなどが、満足度が低下した要因として考えられます。						(対前年度)
							☁ (横ばい)
							☀ (達成)
							☀ (低)

基本事業02 バスでの成田空港方面へのアクセス向上

指標	成田空港方面への年間バス利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【空港地域振興課】	人	15,358	20,222	19,871	26,500	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の市内より成田空港方面への年間バス利用者数は19,871人であり、基準値と比較して4,513人増加しましたが、前年度と比較して351人減少しました。 < 原因 > 昨今の人口減少の影響や、空港従事者や学生、円安などにより出国する日本人観光客などの空港利用者の減少が要因と考えられます。						(対前年度)
							☁ (横ばい)
							☀ (達成)
							☀ (中)

基本事業03 鉄道の利便性向上

指標	1日当たりの鉄道利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【企画政策課】	人	3,670	3,961		4,500	---
評価	指標値は、JR公表資料発表後、9月中旬ごろに取得します。						(対前年度)

							☀ (達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・防災・減災の取組には、「自助」が重要であり、市民一人ひとりの災害に対する意識や知識の向上を図ります。
- ・災害に備えるため、自主防災組織の活動を活性化させる支援を行い、地域防災力の強化を図ります。
- ・個別避難計画の作成に取り組み、避難の実効性確保を図ります。
- ・避難所の迅速な開設や適切な運営には、地域等による「共助」が不可欠なことから、避難所運営委員会の設立を推進し、地域住民同士が連携し、主体として避難所を開設・運営する体制を整えます。
- ・災害に強いまちづくりを図るため、災害時等の活動拠点、地域の避難場所として機能する防災拠点の再整備を推進していきます。
- ・地域防災力の強化には消防団員の確保が必要です。団員の消防技術の維持・向上のため、訓練に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
災害 火災による死者数 (人)	成果	2	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)(項目)	成果	4.9	4.72	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	自主防災組織数(組織)	成果	92	94	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	自主防災組織の訓練実施割合(%)	成果	21.7	29.8	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	個別避難計画の作成割合 (個別計画策定対象者分)(%)	成果	2.4	7.3	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	避難所運営委員会設置割合(%)	成果	4.1	4.1	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	職員訓練(機能別、避難所開設・運営等)回数(回)	成果	4	4	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	食糧・飲料・物品の備蓄率(%)	成果	88.3	90.2	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
03	災害情報発信システム 防災施設の不具合件数(件)	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	
04	国土強靱化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間 累計)(事業)	成果	5	11	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	火災の損害額(千円)	成果	68,008	112,574	☂ (低下)	☂ (低下)	○
05	火災による死者数(人)	成果	2	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

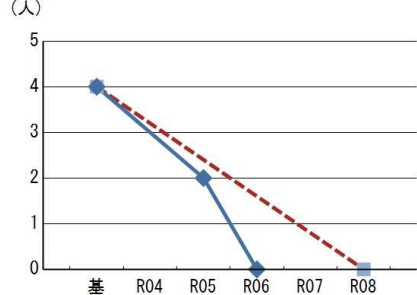
政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 03 災害に強い強靱なまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・消防団 ・関係機関 ・行政 ・常備消防	・市民、地域、行政の防火・防災対策が推進され、被害が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	災害・火災による死者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
	【消防防災課】	人	4	2	0	0	 (向上)																					
評価	< 状況 > 令和6年度の災害・火災による死者数は0人で、基準値と比較し4人減少、前年度と比較し2人減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 市や各区・自治会、自主防災組織における防災訓練の実施、広報紙等での防災・減災に対する普及啓発の実施によって市民の防災意識の向上につながったこと。また、火災件数は基準年と同数、前年度から10件減少したことや、火災予防啓発等を継続して推進していることが要因の一つと思われます。		(人)  <table><caption>Graph Data (Number of Deaths)</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Actual Value</th><th>Target Value</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>R04</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>R05</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td><td>0</td></tr></tbody></table>				Year	Actual Value	Target Value	基準	4	4	R04	2	3	R05	2	2	R06	0	1	R07	0	0	R08	0	0	対 前年度
	Year	Actual Value	Target Value																									
基準	4	4																										
R04	2	3																										
R05	2	2																										
R06	0	1																										
R07	0	0																										
R08	0	0																										
							 (向上)																					
							達成 状況																					
							 (達成)																					

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防災意識・知識の向上

基本事業 02 地域防災力の向上

基本事業 03 災害対応力の向上

基本事業 04 強靱化対策の推進

基本事業 05 消防力の充実

基本事業01 防災意識・知識の向上

指標	災害に対する備えの平均実施項目数(全14項目)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		項目	5.01	4.9	4.72	7	☁ (横ばい)
評価	【消防防災課】 (項目) (横ばい) 対 前年度 ☁ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)						

基本事業02 地域防災力の向上

指標	自主防災組織数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		組織	90	92	94	102	☀ (横ばい)
評価	【消防防災課】 (組織) (横ばい) 対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)						

基本事業02 地域防災力の向上

指標	自主防災組織の訓練実施割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	15.6	21.7	29.8	30	☀ (向上)
評価	【消防防災課】 (%) (向上) 対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 ■■■ (高)						

基本事業02 地域防災力の向上

指標	個別避難計画の作成割合 (個別計画策定対象者分)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	0	2.4	7.3	100	☀ (横ばい)
評価	【消防防災課】 (%) (横ばい) 対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)						

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業02 地域防災力の向上

指標	避難所運営委員会設置割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【消防防災課】	%	0	4.1	4.1	50
評価	< 状況 > 令和6年度の避難所運営委員会設置割合は4.1%（1箇所/24箇所）で基準値と比較して4.1ポイント向上、前年度と比較し横ばいの状況でした。 < 原因 > さんぶの森避難所運営委員会の設立を目指し事業実施しましたが、設立までに至りませんでした。引き続き取り組みを進めます。						対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

基本事業03 災害対応力の向上

指標	職員訓練（機能別、避難所開設・運営等）回数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【消防防災課】	回	3	4	4	5
評価	< 状況 > 令和6年度の職員訓練（機能別、避難所開設・運営等）回数は4回で基準値と比較して1回増加、前年度と比較し増減なしでした。 < 原因 > 市役所職員の防災意識を向上させることを目的に、大雨などによる浸水・土砂災害を想定した訓練及び津波災害を想定した訓練を実施したことが要因です。（実施内訳：職員訓練、水防訓練、津波避難訓練、シェイクアウト訓練）						対前年度 (横ばい) 達成状況 (高)

基本事業03 災害対応力の向上

指標	食糧・飲料・物品の備蓄率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【消防防災課】	%	100	88.3	90.2	100
評価	< 状況 > 令和6年度の食糧・飲料・物品の備蓄率は90.2%（食糧80.3%、飲料100%）で基準値と比較して9.8ポイント減少、前年度と比較し1.9ポイント向上しました。 < 原因 > 基準値と比較し減少した要因は、令和5年3月に山武市地域防災計画を改定し、備蓄の必要総数を変更したことによるものです。一方、前年度と比較して向上した要因は、長期的備蓄計画を策定し、令和8年度までに保存食の目標備蓄量（28,800食）の確保を予定しているためです。						対前年度 (低下) 達成状況 (低)

基本事業04 強化対策の推進

指標	国土強化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【消防防災課】	事業	0	5	11	9
評価	< 状況 > 令和6年度の国土強化地域計画実施計画の事業完了数(計画期間累計)は11事業で基準値と比較して11事業増加、前年度と比較し6事業増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 適切な進捗管理のもと各事業が実施されたことが要因です。引き続き災害に強いまちづくりを目指し事業の実施に努めます。（完了事業：幼稚園施設整備事業、こども園施設整備事業、小学校施設改修事業、さんぶの森公園改修事業、成東259号線道路改良事業、小学校空調設備改修事業）						対前年度 (向上) 達成状況 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業05 消防力の充実

指標	火災の損害額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【消防防災課】	千円	64,650	68,008	112,574	0	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の火災損害額は112,574千円で基準値と比較して47,924千円増加、前年度と比較して44,566千円増加しました。 < 原因 > 令和 6 年度において、火災件数は昨年度から10件減少しましたが、規模の大きい建物火災が多く発生したことが要因です。	(千円)					☂ (低下)
							☂ (低下)

基本事業05 消防力の充実

指標	火災による死者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【消防防災課】	人	4	2	0	0	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の火災による死者数は 0 人で、基準値と比較して 4 人減少、前年度と比較して 2 人減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 火災件数は基準年と同数、昨年度からは10件減少しています。また、火災予防啓発等を継続して推進していることも要因の一つと思われます。	(人)					☀ (向上)
							☀ (向上)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・管理不良状態にある空き地については、管理者に対し、適切な行政指導を行うなど、生活環境の美化を推進します。
- ・美化運動を通じて、市民や事業者の生活環境に関する意識向上に取り組むとともに、快適な生活環境の維持に取り組んでいきます。
- ・産業廃棄物の不法投棄件数は、令和6年度12件、令和5年度38件、令和4年度18件と推移しています。パトロールや県等の関係機関との連携を強化し、不法投棄の防止に取り組んでいきます。
- ・成田国際空港の機能強化に伴い、航空機による騒音への対策が必要となることから、成田国際空港株式会社や公益財団法人成田空港周辺地域共生財団などと連携しながら、防音工事等を実施し、生活環境の改善に取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合（％）	成果	66.3	73.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○
生活環境に関する苦情件数（件）	成果	231	190	☀ (向上)	☀ (向上)	○
住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合（％）	成果	76.3	75.2	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	空地の管理（雑草等）苦情件数（件）	成果	15	5	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	その他生活公害苦情件数（件）	成果	66	61	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
02	産業廃棄物不法投棄件数（件）	成果	38	12	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	一般廃棄物等不法投棄件数（件）	成果	112	109	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
02	ごみゼロ運動参加者数（人）	成果	9,091	7,480	---	☂ (低下)	○
03	航空機騒音対策に対する満足度（％）	成果	79.9	78.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 01 生活環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 快適に暮らせる生活環境が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	%	66.6	66.3	73.4	70	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の快適な生活環境が整っていると思う市民の割合は73.4%で、基準値より6.8ポイント増加、前年度より7.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > アンケートの集計結果を分析すると、空き地の管理、不法投棄、犬・猫の管理に関する苦情が減少傾向となっており、生活環境に対して問題意識を持ち、対応する方が多くなっていることが要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)
指標	生活環境に関する苦情件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	件	242	231	190	234	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の生活環境に関する苦情件数は190件で、基準値より52件減少、前年度より41件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 廃棄物の不法投棄監視の強化や管理不良状態にある空き地の管理者に対する継続的な指導の実施したことが苦情件数が減少した要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)
指標	住宅内で航空機音を不快に感じる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【空港地域振興課】	%	81.7	76.3	75.2	75	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の航空機騒音を不快に感じる市民の割合は、75.2%で、基準値と比較して6.5ポイント減少、前年度より1.1ポイント減少しました。 < 原因 > 成田国際空港の発着する航空機の便数は増加しましたが、寝室内窓工事及び防音工事、空調機の更新工事が進んだことが要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 🏰 (高)

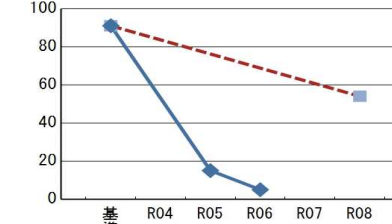
□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生活公害の対策

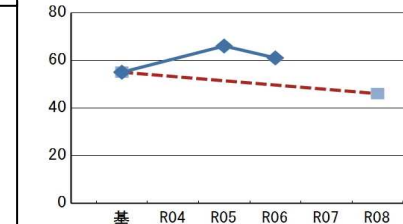
基本事業 02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

基本事業 03 航空機騒音等の対策

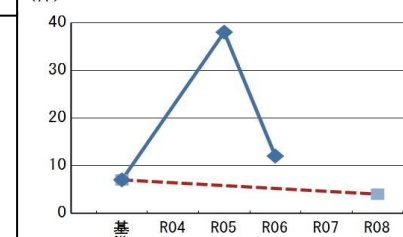
基本事業01 生活公害の対策

指標	空地の管理（雑草等）苦情件数					単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値	
	【環境保全課】					件	91	15	5	54		
評価						(件)						(向上)
	< 状況 > 令和 6 年度の空地の管理（雑草等）苦情件数は 5 件で、基準値より 86 件減少、前年度より 10 件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 管理不良状態となっている空き地の管理者に対して、継続的な指導を実施していることや当事者間での問題解消が図られることなどにより、空地の適切な管理が普及したことが要因であると考えます。										対 前年度	
											(向上)	
値												
											達成 状況	
												
											(達成)	

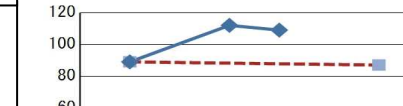
基本事業01 生活公害の対策

指標		単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値	
その他生活公害苦情件数		件	55	66	61	46		
							(低下)	
評価			(件)					対 前年度
	< 状況 > 令和6年度のその他生活公害苦情件数は61件で、基準値より6件増加しましたが、前年度より5件減少しました。 < 原因 > 野焼きの通報が39件あり、広報紙や防災無線周知により、野焼き行為禁止に対する意識が向上し、通報が増加していることが要因と考えられます。							
								(横ばい)
								達成 状況
								
							(低)	

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	産業廃棄物不法投棄件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
		件	7	38	12	4											
評価	【環境保全課】		(件)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>7</td></tr><tr><td>R05</td><td>38</td></tr><tr><td>R06</td><td>12</td></tr><tr><td>R08</td><td>4</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	7	R05	38	R06	12	R08	4	(低下)
	項目	値															
	基準	7															
	R05	38															
R06	12																
R08	4																
	< 状況 > 令和 6 年度の産業廃棄物不法投棄件数は、12件で基準値と比較して 5 件増加しましたが、前年度より26件減少しました。	対 前年度															
	< 原因 > 不法投棄監視員及び不法投棄パトロール業務委託（シルバー人材センター）のパトロールを強化したことが抑止力となり減少した要因と考えられます。																
値		(向上)															
		達成 状況															
																	
		(低)															

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	一般廃棄物等不法投棄件数					対基準値	
	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)		
	件	89	112	109	87		
	【環境保全課】					(低下)	
評価	< 状況 > 令和6年度の一般廃棄物等不法投棄件数は109件で、基準値より20件増加しましたが、前年度より3件減少しました。 < 原因 > 不法投棄監視員及び不法投棄パトロール業務委託（シルバー人材センター）のパトロールを強化したことが抑止力となり減少した要因と考えられます。					(件)	
							
							対前年度
							達成状況
値						 (低)	

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	ごみゼロ運動参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値												
	【環境保全課】	人	-	9,091	7,480	9,400	---												
評価	< 状況 > 令和 6 年度のごみゼロ運動参加者数は7,480人となり、前年度より1,611人減少しました。 < 原因 > 人口減少や地域コミュニティへの参加人口が減少していることが、参加人数減少の要因と思われます。	(人) <table><caption>ごみゼロ運動参加者数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R05</td><td>9,091</td><td>-</td></tr><tr><td>R06</td><td>7,480</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>9,400</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	めざそう値	R05	9,091	-	R06	7,480	-	R08	-	9,400	対 前年度 (低下) 達成 状況 (高)
	年度	実績値	めざそう値																
R05	9,091	-																	
R06	7,480	-																	
R08	-	9,400																	

基本事業03 航空機騒音等の対策

指標	航空機騒音対策に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値												
	【空港地域振興課】	%	78.5	79.9	78.9	80													
評価	< 状況 > 令和6年度の航空機騒音対策に対する満足度は78.9%で、基準値と比較して0.4ポイント増加しましたが、前年度より1.0ポイント減少しました。 < 原因 > 防音工事補助率の見直しを行い、新規業者の参入が増え防音工事及び更新工事がスムーズに対応できるようにしましたが、航空需要の増加に伴い航空機の離発着数が増えていることが要因と考えられます。	(%) <table><caption>航空機騒音対策に対する満足度 (%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R05</td><td>79.9</td><td>-</td></tr><tr><td>R06</td><td>78.9</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>80</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	めざそう値	R05	79.9	-	R06	78.9	-	R08	-	80	 (横ばい)
							年度	実績値	めざそう値										
R05	79.9	-																	
R06	78.9	-																	
R08	-	80																	
						 (横ばい)													
						達成 状況													
						 (低)													

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を抑制していくことが求められています。家庭や事業所での効率的なエネルギーの利用を促進していくとともに、環境に配慮した省エネ機器の導入や再生可能エネルギーの利用促進に取り組んでいきます。

・家庭ごみの減量化・再資源化に対する意識の向上を図ります。

・市民から排出されるごみの適正な分別の意識を高め、3 Rを総合的に推進し、ごみの排出量の減量化に取り組んでいきます。

・2028年度からは、成東地域のごみ処理も山武郡市環境衛生組合で取り扱うことから、指定ごみ袋制度やごみの収集方法の一本化に向け調整を図ります。

・未処理の生活排水が適正に処理されるよう、単独処理浄化槽、くみ取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
山武市の温室効果ガス (CO ₂) 排出量 (tCO ₂)	成果	687千	622千	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
1人 1日あたりのごみの排出量 (g)	成果	758	748	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
污水处理人口普及率 (%)	成果	67.7	62.8	☂ (低下)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	再生可能エネルギーの導入量 (kw)	成果	107,333	109,146	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	山武市役所における温室効果ガス (CO ₂ 等) 排出量 (tCO ₂)	成果	4,678	4,101	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
01	木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量 (t)	成果	2,349.1	2,822.5	☂ (低下)	☀ (向上)	○
01	省エネへの生活様式平均実践項目数 (項目)	成果	3.12	3	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	家庭ごみ排出量 (t)	成果	9,348	9,384	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	再資源化率 (%)	成果	21.3	20.7	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	ルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数 (件)	成果	3,315	3,341	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む) (円)	成果	11,024	12,685	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	合併処理浄化槽設置基数 (基)	成果	60	45	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	農業集落排水供用戶数 (戸)	成果	1,059	1,078	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 02 脱炭素・循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
	自然環境にやさしいまちにむけて、環境負荷の少ない生活を実践し、温室効果ガスや廃棄物、汚水の排出が抑制されています。

施策の成果状況と評価

指標	山武市の温室効果ガス（CO2）排出量	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	tCO2	659千	687千	622千	522千	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の山武市の温室効果ガス（CO2）排出量は622千tCO2で、基準値と比較して37千tCO2減少、前年度と比較して65千tCO2減少しました。 < 原因 > 家庭部門と運輸部門が増加し、産業部門と廃棄物分野が減少したことが要因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
指標	1人1日あたりのごみの排出量	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	g	803	758	748	769	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の1人1日あたりのごみの排出量は748gで、基準値より55g減少、前年度と比較して10g減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 資源回収運動の団体数等減少や事業系ごみ発生量の減少が、ごみ排出量が減少した要因と考えられます。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (達成)
指標	汚水処理人口普及率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【環境保全課】	%	63	67.7	62.8	71.6	☔ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の汚水処理人口普及率は62.8%で、基準値と比較して0.2ポイント減少、前年度と比較して4.9ポイント減少しました。 < 原因 > 単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換補助金の交付や農業集落排水の供用戸数の増加はしたものの、出典元である県の単独処理浄化槽基数の数値が増加したことが主な要因と考えられます。						対前年度 ☔ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域脱炭素化の推進

基本事業 02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

基本事業 03 汚水処理の推進

基本事業01 地域脱炭素化の推進

指標	再生可能エネルギーの導入量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【環境保全課】	k w	97,478	107,333	109,146	150,020	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の再生可能エネルギーの導入量は109,146kwで、基準値と比較して11,668kw増加、前年度と比較して1,813kw増加しました。 < 原因 > 市内において、新築や民間設置の太陽光発電設備の増加が主な要因と考えられます。						☀ (横ばい)
		(k w)					☀ (横ばい)

基本事業01 地域脱炭素化の推進

指標	山武市役所における温室効果ガス（CO2等）排出量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【環境保全課】	tCO2	4,274	4,678	4,101	3,573	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の山武市役所における温室効果ガス排出量は4,101tCO2で、基準値と比較して173tCO2減少、前年度と比較して577tCO2減少しました。 < 原因 > 市役所全体において、職員の省エネの実践により電気、ガス、燃料の使用量が抑えられたことが、温室効果ガス（CO2等）排出量の削減につながったと考えられます。						☀ (向上)
		(tCO2)					☀ (向上)

基本事業01 地域脱炭素化の推進

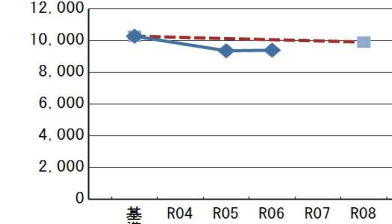
指標	木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	t	3,505.8	2,349.1	2,822.5	4,732.8	☀ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の木質バイオマス発電の燃料として活用された木材量は2822.5tで、基準値と比較して683.3t減少、前年度と比較して473.4t増加しました。 < 原因 > 森林整備に係る補助金の対象期間を 3 か月から通年に拡大したことにより、森林の整備が進み、搬出された木材量が増加したことが要因と考えます。						☀ (向上)
		(t)					☀ (向上)

基本事業01 地域脱炭素化の推進

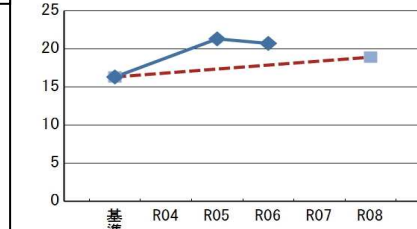
指標	省エネへの生活様式平均実践項目数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【環境保全課】	項目	2.8	3.12	3	3.5	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の省エネへの生活様式平均実践項目数は3.00項目で、基準値と比較して0.20項目増加していますが、前年度と比較して0.12項目減少しました。 < 原因 > 電気代の高騰等による省エネへの関心の高まりや、各種省エネ対策について市等が啓発活動を行っているものの、実践に至っていない取組が多いことが主な要因と考えられます。						☀ (横ばい)
		(項目)					☀ (横ばい)

□ 基本事業の成果状況と評価

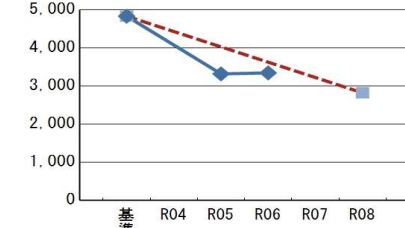
基本事業02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

指標	家庭ごみ排出量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【環境保全課】	t	10,264	9,348	9,384	9,896	 (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の家庭ごみ排出量は9,384 t で、基準値より880 t 減少、前年度と比較して36 t 増加しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 家庭用生ごみ堆肥化装置補助金やりサイクル倉庫の活用により市民の意識が向上しており、ごみの減量化が継続していることが要因と考えられます。	 (t)					 対前年度
							 (横ばい)
値							 達成状況
							 (達成)

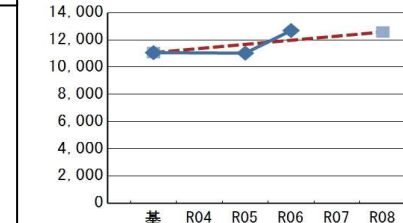
基本事業02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

指標	再資源化率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	%	16.3	21.3	20.7	18.9	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の再資源化率は20.7%で、基準値より4.4ポイント増加、前年度と比較して0.6ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 資源回収運動を実施する団体が高齢化等の理由により減少していることやPTA活動の縮小により回収量が減少していることが、再資源化率が減少した要因と考えられます。	(%)					(向上)
							対 前年度
価値							
							(横ばい)
							達成 状況
							
							(達成)

基本事業02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

指標	ルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値																					
	【環境保全課】	件	4,828	3,315	3,341	2,817																						
評価	< 状況 > 令和 6 年度のルールを守らずに集積所に出されたごみ袋数は3,341件で、基準値より1,487件減少しましたが、前年度と比較して26件増加しました。 < 原因 > 適正な分別が出来ない外国人は短期的な居住者が多くっており、分別ルールを理解する前に居住者が入れ替わってしまうことが、増加した要因と考えられます。	(件)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th><th>基準値 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4,828</td><td>4,828</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>3,315</td><td>4,828</td></tr><tr><td>R06</td><td>3,341</td><td>4,828</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>2,817</td><td>2,817</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (件)	基準値 (件)	基準	4,828	4,828	R04	-	-	R05	3,315	4,828	R06	3,341	4,828	R07	-	-	R08	2,817	2,817	(向上)
		年度	実績値 (件)	基準値 (件)																								
基準	4,828	4,828																										
R04	-	-																										
R05	3,315	4,828																										
R06	3,341	4,828																										
R07	-	-																										
R08	2,817	2,817																										
価値							 (横ばい)																					
							達成 状況																					
							 (高)																					

基本事業02 3 Rの推進とごみ処理の適正化

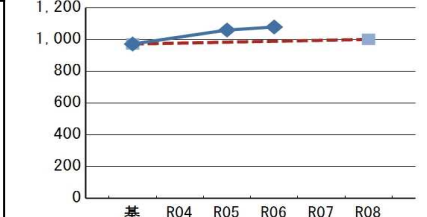
指標	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	円	11,062	11,024	12,685	12,578	 (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の1人当たりの負担金額は12,685円で、基準値より1,623円増加、前年度と比較して1,661円増加しました。 < 原因 > 成東地域のごみ袋作成経費や山武郡市環境衛生組合新施設建設に係る経費が増加したことが、増加となった要因と考えられます。						対 前年度
							 (低下) 達成 状況  (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 汚水処理の推進

指標	合併処理浄化槽設置基数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																												
	【環境保全課】	基	58	60	45	70	☂ (低下)																												
評価	< 状況 > 令和6年度の合併処理浄化槽設置基数は45基で、基準値と比較して13基減少、前年度と比較して15基減少しました。 < 原因 > 世帯の高齢化や、物価高騰による工事費の増加などにより、費用負担の面から転換工事に消極的になったことが要因と考えられます。	(基) <table><caption>合併処理浄化槽設置基数の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>58</td><td>-</td><td>70</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td><td>60</td><td>70</td></tr><tr><td>R05</td><td>-</td><td>60</td><td>70</td></tr><tr><td>R06</td><td>-</td><td>45</td><td>70</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td><td>60</td><td>70</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>70</td><td>70</td></tr></tbody></table>					年度	基準値	実績値	めざそう値	基準	58	-	70	R04	-	60	70	R05	-	60	70	R06	-	45	70	R07	-	60	70	R08	-	70	70	☂ (低下)
		年度	基準値	実績値	めざそう値																														
基準	58	-	70																																
R04	-	60	70																																
R05	-	60	70																																
R06	-	45	70																																
R07	-	60	70																																
R08	-	70	70																																
						☂ (低下)																													
						達成 状況																													
						■■■ (低)																													

基本事業03 汚水処理の推進

指標	農業集落排水供用戶数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																				
		戸	971	1,059	1,078	1,000	☀ (向上)																				
評価	【農政課】	(戸)					対 前年度																				
	< 状況 > 令和 6 年度の農業集落排水供用戶数は1,078戸で、基準値と比較して107戸増加、前年度と比較して19戸増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 増加戸数のほとんどが新規加入ではなく、事業創設時に加入し公共樹設置済であることから、費用負担の面から農業集落排水への転換が進んだことが主な原因であると考えられます。	 <table><caption>農業集落排水供用戶数の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>971</td><td>1,059</td><td>1,059</td><td>1,078</td><td>1,000</td><td>1,000</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>1,000</td><td>1,000</td><td>1,000</td><td>1,000</td><td>1,000</td><td>1,000</td></tr></tbody></table>					年度	基準	R04	R05	R06	R07	R08	実績値	971	1,059	1,059	1,078	1,000	1,000	めざそう値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
年度	基準	R04	R05	R06	R07	R08																					
実績値	971	1,059	1,059	1,078	1,000	1,000																					
めざそう値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000																					
							達成 状況																				
							🏰 (達成)																				

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・水道管等の施設の老朽化に伴う更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化に取り組んでいます。
- ・衛生的な水を安定的に供給するために、加入促進に取り組んでいます。
- ・近年の大規模な自然災害や水質事故等の緊急時に迅速な対応が取れるよう、マニュアルの充実を図り、応急給水対策に取り組んでいます。
- ・供給事業については、令和8年4月1日から九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体は事業統合し、県営水道が経営することになるため、準備を進めています。
- ・給水事業については、山武郡市広域水道企業団、山武市営水道、長生郡市広域市町村圏組合、八戸水道企業団の末端給水事業体による、統合・広域化の基本計画策定に向けて協議検討を進めています。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
上水道普及率【市営水道】(%)	成果	56.5	56.8	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
上水道普及率【広域水道】(%)	成果	81.6	81.9	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	漏水事故件数【市営水道】(件)	成果	0	1	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
01	漏水事故件数【広域水道】(件)	成果	33	34	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
02	水質の苦情件数【市営水道】(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	水質の苦情件数【広域水道】(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	応急給水資機材の備蓄割合【市営水道】(%)	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	応急給水資機材の備蓄割合【広域水道】(%)	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	経常収支比率【市営水道】(%)	成果	102.9	107.1	☁ (横ばい)	☀ (向上)	○
04	経常収支比率【広域水道】(%)	成果	102.3	101	☂ (低下)	☂ (低下)	○
04	広域化に関する承認件数【市営水道】(件)	成果	0	0	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 03 上水道の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安定した水道水を使う市民が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標	上水道普及率【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【水道課】	%	53.3	56.5	56.8	57.5	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の上水道普及率【市営水道】は56.8%で、基準値と比較して3.5ポイント増加、前年度と比較して0.3ポイント増加しました。 < 原因 > 新築戸建の増加、井戸から水道水への切替により水道利用者が増加したためです。						対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■ (高)

指標	上水道普及率【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【環境保全課】	%	81.3	81.6	81.9	81.3	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の上水道普及率【広域水道】は81.9%で、基準値と比較して0.6ポイント増加、前年度と比較して0.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 転入者が新たに水道を利用開始したことが要因と考えられます。						対 前年度
							☀ (向上)
							達成 状況
							🏠 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	安定給水の確保
基本事業	02	水質の安全性の確保
基本事業	03	地震等の災害対策
基本事業	04	経営の健全化と広域化の推進

基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【水道課】	件	1	0	1	0	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の漏水事故件数【市営水道】は1件で、基準値を維持し、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 経年による劣化が漏水の要因であるため、配水量の監視等を適正に行い、維持管理に努め、漏水を未然に防止します。						☔ (低下)
							■ (中)

基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【環境保全課】	件	43	33	34	33	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の漏水事故件数【広域水道】は34件で、基準値と比較して9件減少しましたが、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 今後は、管路の老朽化により増加していくと考えられます。管内全体の老朽管率が44.1%と高い水準ですが、段階的に更新を行っていることが要因です。						☔ (横ばい)
							■ (高)

基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【水道課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の水質の苦情件数【市営水道】は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 浄水場の薬品注入設備や水質測定機器の定期修繕、水道管末端での排水作業による管洗浄及び水質検査等の実施により、適正な水質基準を満たしていることが要因です。						☀ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【環境保全課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の水質の苦情件数【広域水道】は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 水質検査や水道管の洗浄等を適宜実施し、適正な水質基準を満たしているためと考えられます。						☀ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業03 地震等の災害対策

基本事業03 地震等の災害対策

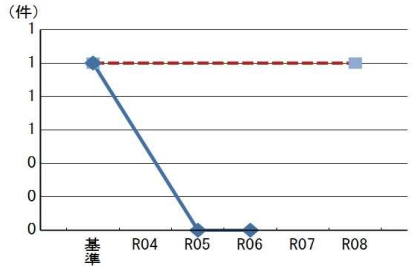
基本事業04 経営の健全化と広域化の推進

基本事業04 経営の健全化と広域化の推進

33

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 経営の健全化と広域化の推進

指標	広域化に関する承認件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	1	0	0	1	
評価	【水道課】 < 状況 > 令和 6 年度の広域化に関する承認件数は 0 件で、基準値と比較して 1 件減少、前年度と同数となりました。 < 原因 > 九十九里地域末端給水事業体と構成市町村との覚書締結を延期したためです。	 (件) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					(横ばい)
							対 前年度
							
							(横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・ 刑法犯認知件数のうち約84.0%は窃盗犯であり、その多くは金属窃盗等の非侵入盗であることから、ドライブレコーダーを搭載した青色パトロールカーを活用した防犯活動を推進します。
- ・ 消費生活センター等の相談体制を確保することにより、電話de 詐欺といった特殊詐欺をはじめとする消費者トラブルの防止に努めます。
- ・ 令和4年に道路交通法が改正され、安全運転管理者による運転者の酒気帯び確認が義務化されました。
- ・ 交通安全計画に基づき施策を展開します。高齢者、幼児、児童・生徒及びドライバー等の対象者に応じた交通安全施策に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数 (件)	社会	7	8	☂ (低下)	☂ (低下)	○
人口1,000人当たりの交通事故発生件数 (件)	成果	2.8	1.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数 (団体)	成果	32	32	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
01	防犯活動を行っている協力者数 (人)	成果	369	381	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
02	登下校時における児童・生徒の事件・事故件数 (件)	成果	7	5	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
03	防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数 (計画期間累計) (箇所)	成果	128	211	☀ (向上)	☂ (低下)	○
04	消費者トラブルにあった市民の割合 (%)	成果	4.8	3.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数 (回)	成果	4	3	☂ (低下)	☂ (低下)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策 04 防犯・交通安全の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安心して住めるまちになっています。

施策の成果状況と評価

指標	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
	【市民自治支援課】	件	5	7	8	5	☂ (低下)										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は 8 件で、基準値と比較して 3 件、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 近年、山武市内で銅線等の金属盗難事件が増加傾向にあることが原因です。	(件) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>5</td></tr><tr><td>R05</td><td>7</td></tr><tr><td>R06</td><td>8</td></tr><tr><td>R08</td><td>5</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	5	R05	7	R06	8	R08	5	対 前年度 ☂ (低下) 達成 状況 ■■■ (低)
	項目	値															
基準	5																
R05	7																
R06	8																
R08	5																

指標	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
	【市民自治支援課】	件	2.3	2.8	1.4	2.3	☀ (向上)										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の人口1,000人当たりの交通事故発生件数は1.4件で、基準値と比較して0.9件、前年度と比較して1.4件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 交通安全啓発活動により、交通ルール・マナーの意識向上が図られたことが要因の一つと考えられます。	(件) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2.3</td></tr><tr><td>R05</td><td>2.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>1.4</td></tr><tr><td>R08</td><td>2.3</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	2.3	R05	2.8	R06	1.4	R08	2.3	対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 ■■■ (達成)
	項目	値															
基準	2.3																
R05	2.8																
R06	1.4																
R08	2.3																

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防犯体制の充実

基本事業 02 児童・生徒の安全確保

基本事業 03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理

基本事業 04 消費者トラブルの防止

基本事業 05 交通安全意識の向上

基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	団体	28	32	32	28	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の防犯活動を行っている区・自治会や団体の数は32団体で、基準値と比較して4団体増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 防犯協会等による防犯パトロールや市広報紙などを活用した広報啓発活動が定着し、各地域の防犯意識が広がっていることが要因と考えられます。	(団体) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (横ばい)
							☀ (達成)

基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている協力者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	人	609	369	381	609	☔ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の防犯活動を行っている協力者数は381人で、基準値と比較して228人減少しましたが、前年度と比較して12人増加しました。 < 原因 > 学校等において、「こども110番の家」の看板設置の取り組みを推進していることが要因と考えられます。	(人) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (横ばい)
							☀ (達成)

基本事業02 児童・生徒の安全確保

指標	登下校時における児童・生徒の事件・事故件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	件	5	7	5	-	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の登下校時における児童・生徒の事件・事故件数は5件でした。全て交通事故であり、基準値とは同値、前年度と比較すると2件減少しました。 < 原因 > 中学生の自転車での事故が5件ありました。そのうち3件は、自転車走行中の前方不注意が主な原因です。	(件) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (向上)
							☀ (達成)

基本事業03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の管理

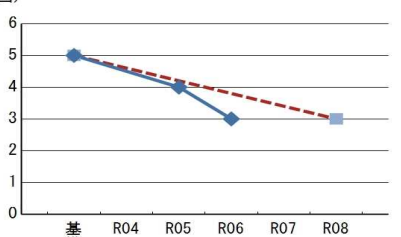
指標	防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	箇所	104	128	211	100	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の防犯灯新設・移設・修繕・撤去箇所数（計画期間累計）は211箇所、基準値と比較して107箇所増加、前年度と比較して83件増加しました。 < 原因 > 各区・自治会長等を通じて、修繕が必要な防犯灯の通報が適切に行われたことと、LED化が進んでいることが要因と考えられます。	(箇所) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					☀ (低下)
							☀ (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 消費者トラブルの防止

指標	消費者トラブルにあった市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値								
		%	5.3	4.8	3.4	4.4									
評価	【商工観光課】	(%)					(向上)								
		<table><tr><th>項目</th><th>値</th></tr><tr><td>基準</td><td>5.3</td></tr><tr><td>R05</td><td>4.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>3.4</td></tr><tr><td>R08</td><td>4.4</td></tr></table>					項目	値	基準	5.3	R05	4.8	R06	3.4	R08
項目	値														
基準	5.3														
R05	4.8														
R06	3.4														
R08	4.4														
	< 状況 > 令和 6 年度の消費者トラブルにあった市民の割合は3.4%で、基準値と比較して1.9ポイント減少、前年度と比較して1.4ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 消費者トラブル防止に向けた消費生活相談員による講座の開催や毎年実施している啓発物資の配布による高齢者見守り啓発を強化したことで、トラブルの未然防止及び詐欺や消費者被害への警戒感が高まったことなどが要因と考えます。														
							(向上)								
							達成 状況								
							(達成)								

基本事業05 交通安全意識の向上

指標	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		回	5	4	3	3	
評価	【市民自治支援課】						(低下)
	< 状況 > 令和6年度の1ヶ月当たりの交通安全啓発回数は3回で、基準値と比較して2回、前年度と比較して1回減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 平常どおりの啓発活動が実施できたことが原因です。						対 前年度
							
							(低下)
値							達成 状況
							
							(達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・地域農業の中心的担い手の育成と確保のため、認定農業者の拡充及び新規就農者への支援に努めるとともに、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図り、農業所得の向上を目指します。
- ・農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を促進し、計画的な土地利用と優良農地の確保に努め、生産性の向上を図ります。
- ・地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の実現、生物多様性の保全や有機農業の推進、農地・農村・森林の持つ多面的機能の維持、食料の安定供給等といった「SDGs」や地球環境に配慮した農林業を推進していきます。
- ・山武市森林づくり審議会において、森林管理の在り方及び森林環境譲与税の活用について検討し、市民に広く恩恵のある森林づくりを推進していきます。
- ・森林整備及び木材利活用を推進していくことにより、地域産材である「サンブスギ」を保全し、そのブランド力の強化を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
農業所得(百万円)	成果	604	1,419	☀ (向上)	☀ (向上)	○
森林整備年間実施面積(計画期間累計)(ha)	成果	360.67	379.87	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	耕地面積(水田、畑)(ha)	成果	5,580	5,530	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
01	家畜伝染病発生件数(酪農、養豚、養鶏)(件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	農用地利用集積率(%)	成果	33.3	33.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	新規就農者数(計画期間累計)(人)	成果	5	9	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
03	ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数(件)	成果	2,076	7,168	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	オライはすめまの農林水産物の販売額(千円)	成果	134,907	142,236	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数(箇所)	成果	5	5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	森林整備事業年間実施箇所数(箇所)	成果	39	32	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
05	市補助制度を活用し、搬出された木材量(t)	成果	3,486	4,097	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 01 農林水産業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 農林水産業従事者	・ 農業経営が安定し、所得額が増えます。 ・ 荒廃した森林が再生します。

施策の成果状況と評価

指標	農業所得	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	百万円	668	604	1,419	1,264	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の農業所得は1,419百万円で、基準値と比較して751百万円増加、前年度と比較して815百万円増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 米不足により米価が上昇したことが主な要因であると考えられます。		(百万円)				対前年度 ☀ (向上)
							達成状況 🏠 (達成)

指標	森林整備年間実施面積（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【農政課】	h a	329.07	360.67	379.87	481.32	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の森林整備年間実施面積（累計）は379.87haで、基準値と比較して50.8ha増加、前年度と比較して19.2ha増加しました。 < 原因 > 大規模な森林整備を行える国の補助事業の要件が変更されたため、大規模な森林整備は難しくなりましたが、市単独の森林整備に係る補助金の対象期間を 3 か月から通年に拡大したことで、森林整備面積が増加した要因と考えられます。		(h a)				対前年度 ☀ (向上)
							達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営の安定化の推進

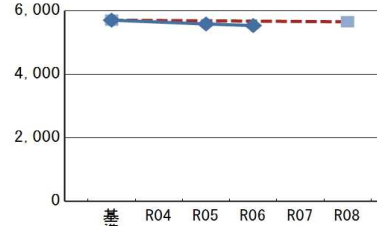
基本事業 02 担い手の育成・支援

基本事業 03 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大

基本事業 04 農業基盤整備の推進

基本事業 05 森林再生の推進

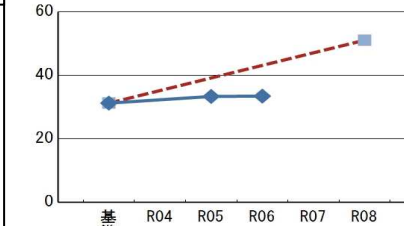
基本事業01 経営の安定化の推進

指標	耕地面積(水田、畑)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値												
		【農政課】	h a	5,700	5,580	5,530	5,650	☂											
評価	< 状況 > 令和 6 年度の耕地面積は5,530haで、基準値と比較して170ha減少、前年度と比較して50ha減少しました。 < 原因 > 営農の効率化のため農用地の集積・集約化を支援していますが、農業者の高齢化等による離農や規模縮小が、耕地面積の減少した要因であると考えます。	(h a)					(低下)												
		 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>耕地面積 (ha)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>5,700</td></tr><tr><td>R04</td><td>5,700</td></tr><tr><td>R05</td><td>5,580</td></tr><tr><td>R06</td><td>5,530</td></tr><tr><td>R07</td><td>5,530</td></tr><tr><td>R08</td><td>5,530</td></tr></tbody></table>					年度	耕地面積 (ha)	基準	5,700	R04	5,700	R05	5,580	R06	5,530	R07	5,530	R08
年度	耕地面積 (ha)																		
基準	5,700																		
R04	5,700																		
R05	5,580																		
R06	5,530																		
R07	5,530																		
R08	5,530																		

基本事業01 経営の安定化の推進

指標	家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値												
		件	0	0	0	0													
評価	【農政課】	(件) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>発生件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>R04</td><td>0</td></tr><tr><td>R05</td><td>0</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	発生件数	R04	0	R05	0	R06	0	R07	0	R08	0	(向上)
	年度						発生件数												
	R04						0												
	R05						0												
R06	0																		
R07	0																		
R08	0																		
< 状況 > 令和 6 年度の家畜伝染病発生件数は 0 件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。	対前年度																		
< 原因 > 各畜産農家が東部家畜保健衛生所等関係機関と連携協力のもと、法定伝染病の発生予防に努めたことが要因であると考えられます。	(向上)																		
	達成状況																		
	(達成)																		

基本事業02 担い手の育成・支援

指標	農用地利用集積率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値	
		%	31.2	33.3	33.4	51	☀	
	【農政課】	(%) 						(横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の農用地利用集積率は33.4%で、基準値と比較して2.2ポイント増加、前年度と比較して0.1ポイント増加しました。 < 原因 > 離農や経営規模の縮小により、経営拡大を進める農業者へ農地の集積が進んでいますが、農地中間管理事業の認知不足や農地の借り手を見つけるまでに時間を要することから用地利用集積率が微増となっているものと考えられます。							☀ (横ばい)
								達成 状況
値								■ (低)

基本事業02 担い手の育成・支援

指標	新規就農者数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値															
	【農政課】	人	0	5	9	12	☀ (向上)															
評価	< 状況 > 令和 6 年度の新規就農者数は 4 人で、基準値と比較して 9 人増加、前年度と比較して 1 人減少しました。 < 原因 > 青年等就農計画認定者については、経営開始資金の交付など有効な支援を受けられることが増加の要因と考えられます。	(人) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>めざそう値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R04</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R05</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>R06</td><td>9</td><td>9</td></tr><tr><td>R08</td><td>12</td><td>12</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	めざそう値	R04	0	0	R05	5	5	R06	9	9	R08	12	12	☁ (横ばい)
							年度	実績値	めざそう値													
R04	0	0																				
R05	5	5																				
R06	9	9																				
R08	12	12																				
値							達成 状況															
							■■ (高)															

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大

指標	ふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		件	552	2,076	7,168	2,245	☀️
評価	【農政課】	(件)					(向上)
	< 状況 > 令和6年度のふるさと納税の返礼品に農林水産物が選択された件数は7,168件で、基準値と比較して6,616件増加、前年度と比較して5,092件増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 米の流通不足により返礼品に米の選択が増加したことが主な要因と考えられます。						☀️ (向上) 達成状況 🏰 (達成)

基本事業03 市内農林水産物の知名度向上と消費拡大

指標	オライはすぬまの農林水産物の販売額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		千円	126,669	134,907	142,236	161,665	☀️
評価	【農政課】	(千円)					(向上)
	< 状況 > 令和6年度のオライはすぬまの農林水産物の販売額は142,236千円で、基準値と比較して15,567千円増加、前年度と比較して7,329千円増加しました。 < 原因 > 米の流通不足により米の売上が好調であったため、農林水産物の販売額が増加したものと考えられます。						☀️ (向上) 達成状況 ■ ■ ■ (低)

基本事業04 農業基盤整備の推進

指標	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		箇所	5	5	5	7	☁️
評価	【農政課】	(箇所)					(横ばい)
	< 状況 > 令和6年度の国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤事業の事業完了数は5箇所所で、新規完了箇所はありません。 < 原因 > 県との協定に基づき、計画的に農業基盤整備を進めているため、現在は、県営湛水防除事業（蓮沼）と県営畑地帯総合整備事業（北総中央 期地区）の2地区を県営事業で整備中です。						☁️ (横ばい) 達成状況 ■ ■ ■ (低)

基本事業05 森林再生の推進

指標	森林整備事業年間実施箇所数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		箇所	20	39	32	30	☀️
評価	【農政課】	(箇所)					(向上)
	< 状況 > 令和6年度の森林整備事業年間実施箇所数は32箇所所で、基準値と比較して12箇所増加、前年度と比較して7箇所減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 令和6年度は1箇所当たりの面積が広い森林の整備が多かったことが、実施できた箇所数が減少した要因と考えられます。						☀️ (向上) 達成状況 ☁️ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業05 森林再生の推進

指標	市補助制度を活用し、搬出された木材量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値										
		t	6,032	3,486	4,097	8,144	☂										
評価	【農政課】 ＜状況＞ 令和6年度の市補助制度を活用して搬出された木材量は4,097tで、基準値と比較して1,935t減少、前年度と比較して611t増加しました。 ＜原因＞ 大規模な森林整備を行える国の補助事業の要件が変更されたため、大規模な森林整備は難しくなりましたが、市単独の森林整備に係る補助金の対象期間を3か月から通年に拡大したことで、搬出量が増加した要因と考えられます。	(t) <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>値</td><td>6,032</td><td>3,486</td><td>4,097</td><td>8,144</td></tr></tbody></table>					年度	基準値	R05	R06	R08	値	6,032	3,486	4,097	8,144	(低下)
							年度	基準値	R05	R06	R08						
							値	6,032	3,486	4,097	8,144						
対 前年度																	
							☀ (横ばい)										
							達成 状況										
							■■■ (低)										

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域の魅力を高める取組を通じて、商店街の連携強化と地域活性化を図ることが求められています。

・山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。

・市商工会を通じた施策等を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。

・成田空港の機能強化に伴う雇用の増加が見込まれることから、企業誘致の促進や市内小中学生への成田空港関連企業への興味・関心を高める事業を実施し、成田空港を核とした経済圏の形成に取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数) (%)	社会	40.2	42.2	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内で日用品や食料品を買う市民の割合 (%)	成果	66.8	65.6	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	新規法人登録件数(計画期間累計)(件)	社会	125	195	☀ (向上)	☂ (低下)	○
01	法人市民税の増加事業所割合 (%)	成果	32	28	☀ (向上)	☂ (低下)	○
02	市内工業団地の従業者数 (人)	成果	1,773	1,777	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	従業員一人当たりの製造品出荷額 (千円)	成果	59,230		---	---	○
03	成田空港周辺自治体としての取組件数 (件)	代替	5	5	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	成田空港内で働く市内従業員数 (人)	社会	478(R4)	478(R4)	---	---	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策 02 商工業の振興と地域経済活性化

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・事業者	・経営力があり、継続的に事業が推進されるとともに、雇用が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【商工観光課】	%	43.5	40.2	42.2	44	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の黒字化している事業者割合(法人税割を納めている事業者数)は42.2%であり、基準値と比較して1.3ポイント低下、前年度と比較して、2.0ポイント向上しました。 < 原因 > 人口減少等に伴う市場シェアの争奪戦が激化していること、人材確保が困難になってきていること、人件費、原材料費、エネルギーコストなどが上昇しているが、競争力維持や効率化のため、価格転嫁ができずに利益率が低下していることなどが、主要要因と考えられます。			(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08			対前年度
							☀ (横ばい)
							達成状況
							■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

基本事業 02 工業の振興

基本事業 03 成田空港経済圏の形成

基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	%	66.4	66.8	65.6	67
評価	< 状況 > 令和6年度の市内で日用品や食料品を買う市民の割合は65.6%で、基準値と比較して0.8ポイント減少、前年度と比較して1.2ポイント減少しました。 < 原因 > 「地域応援！！山武市お買い物割引クーポン券」事業を令和4、5年度に実施したため、市内商店等での消費が喚起され、状況が好転していたものが落ち着いたことが要因と考えます。						(横ばい)
							対前年度
							(横ばい)
							達成状況 (低)

基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	新規法人登録件数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	件	0	125	195	360
評価	< 状況 > 令和6年度の新規法人登録件数(累計)は195件で、前年度と比較して70件増加しました。 < 原因 > 人口減少による地域経済の縮小や、物価、人件費高騰等の影響により、起業する動機が弱まっていることが、前年度と比較して伸びが鈍化している主な要因と考えます。						(向上)
							対前年度
							(低下)
							達成状況 (中)

基本事業01 経営体の体質強化・育成と市内消費の推進

指標	法人市民税の増加事業所割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	%	20	32	28	20
評価	< 状況 > 令和6年度の法人市民税の増加事業所割合は28%で、基準値と比較して8ポイント増加、前年度と比較して4ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > コロナ禍による経済停滞からの回復に伴い、売上や利益が増加したため、基準値及びめざそう値は達成していますが、物価及び人件費の高騰等による影響で経費が高騰したことが、前年と比較し減少している要因と考えます。						(向上)
							対前年度
							(低下)
							達成状況 (達成)

基本事業02 工業の振興

指標	市内工業団地の従業者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【商工観光課】	人	1,768	1,773	1,777	1,800
評価	< 状況 > 令和6年度の市内工業団地の従業者数は、1,777人であり、基準値と比較して、9人増加、前年度と比較して4人増加しました。 < 原因 > 経済活動が順調で、それに伴い生産能力を増強するために従業員を確保していることが、要因と考えます。しかしながら、従業者数を維持することも難しい状況であることが企業からもたらされています。						(横ばい)
							対前年度
							(横ばい)
							達成状況 (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業02 工業の振興

指標	従業員一人当たりの製造品出荷額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【商工観光課】	千円	54,366	59,230		54,761	
	(令和4年度)	(千円)					---
評価	指標値は、経済構造実態調査結果(7月末取得)ごろに取得します。						対前年度

							達成状況

基本事業03 成田空港経済圏の形成

指標	成田空港周辺自治体としての取組件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	件	5	5	5	7	
		(件)					(横ばい)
評価	<状況> 令和6年度の成田空港周辺自治体としての取組件数は5件であり、基準値と同値となりました。 <原因> 令和6年度において新規事業、廃止事業がなかったため、令和5年度と同じに5件となったことが要因です。						対前年度
							(横ばい)
							達成状況
							■ (低)

基本事業03 成田空港経済圏の形成

指標	成田空港内で働く市内従業員数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【空港地域振興課】	人	630 (H29)	478(R4)	478(R4)	700	
		(人)					---
評価	<状況> 令和4年2月1日時点での成田空港内で働く市内従業員数は478人で、基準値(H29)から152人減少しました。令和6年度の調査は行っておりません。 <原因> 令和4年2月時点では、新型コロナウイルス感染症対策の関係等で航空需要等が回復していないことが、従業員数が減少した原因と考えられます。また、現在は、航空機需要も増加していることより、今後、増加が期待されます。						対前年度

							達成状況

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた観光客数は、最近では回復の動きが見られるようになってきました。

・近年の観光のトレンドは、家族や友人と楽しめる体験型観光が好まれているため、魅力あるイベントの開催、体験型観光コンテンツを充実させることで、市内への観光客の増加を図ります。

・本須賀海水浴場は2019年に国際環境認証ブルーフラッグを県内で唯一取得し、その後も継続して取得しています。地域住民と行政が一体となり「海の豊かさを守ろう」という目標に向かって海岸環境美化活動に取り組むとともに、適切な施設管理を行い、安心して安全な海水浴が楽しめる環境づくりに努めます。また、サーフィンやマリンスポーツ、スポーツイベント等の開催を支援し、夏季以外の利用を促進します。

・NPO法人山武市観光協会HPやインスタグラム等のSNSを活用し、多くの世代層に向けた観光情報の発信を行います。また、成東駅前の観光案内所でのサービス内容を充実させ、機能強化を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
年間観光客入込数（人）	成果	1,747,115	1,721,820	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
年間宿泊観光客数（人）	成果	56,249	52,775	☀ (向上)	☔ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	主要施設の年間来客者数（オライはすぬま、さんぶの森公園、蓮沼海浜公園）（人）	成果	1,265,785	1,220,358	☀ (向上)	☔ (低下)	○
01	広域（県）民間事業者との連携事業数（件）	成果	14	15	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
01	体験型観光利用者数（人）	成果	574,414	565,134	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	観光施設（海水浴場）の利用者数（人）	成果	58,303	76,477	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	海岸を利用した撮影及び活動件数（件）	成果	93	147	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	観光案内所利用件数（件）	成果	7,883	8,525	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	SNSフォロワー数（人）	成果	1,962	2,801	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

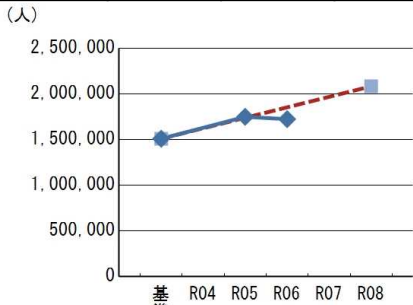
政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

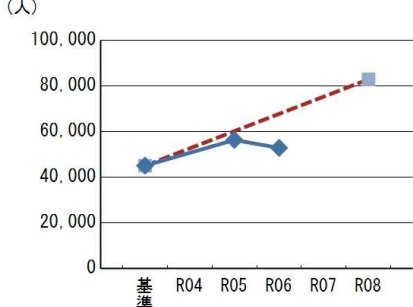
施策 03 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・観光客	・多くの観光客が市内に宿泊し、観光施設を訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客入込数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	人	1,507,284	1,747,115	1,721,820	2,081,000	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年の年間観光客入込数は1,721,820人で基準値と比較して214,536人増加、前年と比較して25,295人減少しました。 < 原因 > 前年度は、コロナ禍で中止されていたイベントが5年ぶりに再開されたことにより、観光客数が一時的に増加していたことが要因と思われます。令和6年度はその反動で観光客数がやや減少しましたが、基準値は引き続き上回っており、一定の誘客効果は維持しています。		(人) 				対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							■■ (低)

指標	年間宿泊観光客数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	人	44,988	56,249	52,775	82,800	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年の年間宿泊観光客数は、52,775人で、基準値と比較して7,787人増加、前年と比較して3,474人減少しました。 < 原因 > 前年からの減少の主な要因としては、市内の比較的大規模の大きいホテルが一時的に営業を休止していたことが影響したと考えられます。		(人) 				対 前年度
							☂ (低下)
							達成 状況
							■■ (低)

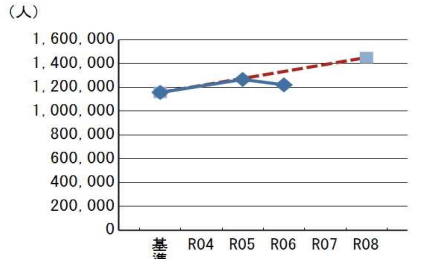
□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 魅力ある観光事業の推進

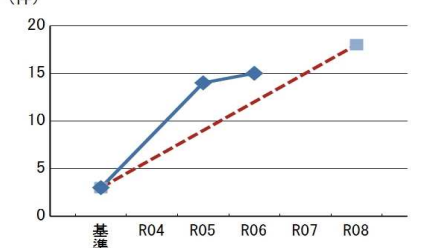
基本事業 02 海岸を活用した観光推進

基本事業 03 観光情報の発信

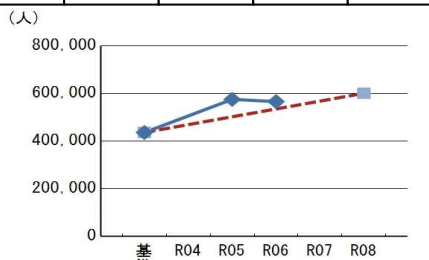
基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	主要施設の年間来客者数（オライはすめま、さんぶの森公園、蓮沼 海浜公園）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	人	1,156,972	1,265,785	1,220,358	1,450,000	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年の年間来客数は、1,220,358人で、基準値と比較して63,386人増加、前年と比較して45,427人減少しました。 < 原因 > 前年はコロナ禍明けに伴う外出需要の高まりにより一時的に来客数が増加した特異な年であり、令和 6 年はその反動で落ち着きを見せたことが要因と考えられます。						対 前年度 ☔️ (低下) 達成 状況 ■■■ (低)
		(人)					(向上)

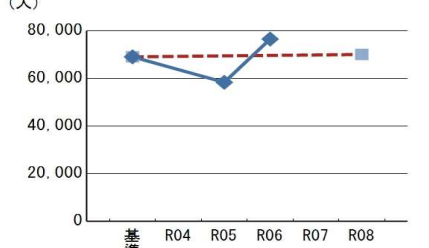
基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	広域(県)、民間事業者との連携事業数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	件	3	14	15	18	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年の広域(県)、民間事業者との連携事業数は15件で、基準値と比較して12件増加、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 観光客数の回復を図ることを目的として広域の連携によるイベントが増えています。他自治体や事業者とのネットワークが広がり、共同でのイベントや情報発信の機会が増えたことが要因と考えられます。						対 前年度 ☀️ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (高)
		(件)					(向上)

基本事業01 魅力ある観光事業の推進

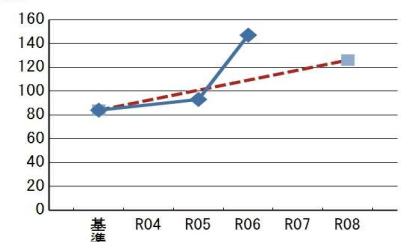
指標	体験型観光利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	人	435,561	574,414	565,134	600,000	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年の体験型観光利用者数は565,134人で、基準値と比較して129,573人増加、前年と比較して9,280人減少しました。 < 原因 > 体験型観光の利用者数は基準値を大きく上回り、一定の成果が見られました。いちご園の来場者は7,923人増加しており、分野によっては堅調に推移しています。全体では、コロナ禍明けの反動により微減となった要因と考えられます。						対 前年度 ☁️ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (高)
		(人)					(向上)

基本事業02 海岸を活用した観光推進

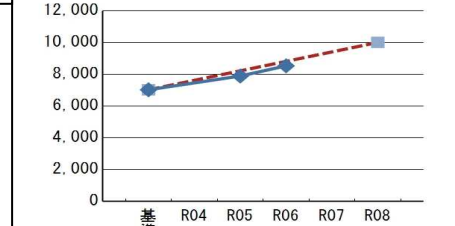
指標	観光施設(海水浴場)の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	人	69,000	58,303	76,477	70,000	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年の観光施設(海水浴場)の利用者数は76,477人で、基準値と比較して7,477人増加、前年度と比較して18,174人増加しました。 < 原因 > 海水浴場の利用者増加の要因として、海水浴場開設期間が前年より7日間延長されたことに加え、天候や施設環境の整備などが相乗的に影響したものと考えられます。						対 前年度 ☀️ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)
		(人)					(向上)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標	海岸を利用した撮影及び活動件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値												
	【商工観光課】	件	84	93	147	126	☀️												
評価	< 状況 > 令和 6 年度の海岸を利用した撮影及び活動件数は、147件で基準値と比較して63件増加、前年度と比較して54件増加しました。 < 原因 > ロケーションとしての魅力が広まり、過去の撮影実績による波及効果や、情報発信の充実などが、利用件数の増加につながったものと考えられます。特にブルーフラッグを取得した本須賀海岸は撮影場所として非常に魅力的であり、撮影申し込みが増える一因となっていると考えられます。	(件)					(向上)												
		 <table border="1"><caption>海岸を利用した撮影及び活動件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>件数</td><td>84</td><td>93</td><td>147</td><td>126</td><td>-</td><td>126</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08	件数	84	93	147	126	-
項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08													
件数	84	93	147	126	-	126													

基本事業03 観光情報の発信

指標	観光案内所利用件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値													
		件	7,018	7,883	8,525	10,000	☀️													
評価	【商工観光課】	(件)					(向上)													
	< 状況 > 令和 6 年度の観光案内所利用件数は、8,525件で、基準値と比較して1,507件増加、前年度と比較して642件増加しました。 < 原因 > コロナ禍以降、観光需要が回復し、駅前の情報拠点として訪れる利用者が増加したことが考えられます。	 <table><caption>観光案内所利用件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>件数</td><td>7,018</td><td>7,883</td><td>8,525</td><td>10,000</td><td>-</td><td>10,000</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08	件数	7,018	7,883	8,525	10,000	-	10,000
項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08														
件数	7,018	7,883	8,525	10,000	-	10,000														

基本事業03 観光情報の発信

指標	SNSフォロワー数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【商工観光課】	人	1,158	1,962	2,801	5,000	☀️ (向上)														
評価	< 状況 > 令和 6 年度のSNSフォロワー数は、2,801人で、基準値と比較して1,643人増加、前年度と比較して839人増加しました。 < 原因 > 市の観光協会において、市の魅力や観光スポットの投稿内容の工夫や、イベント情報を定期的に発信し、フォロワーにとって興味深く役立つコンテンツを提供したことで関心が高まったことが増加要因と考えられます。	(人) <table><caption>SNSフォロワー数 (人)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>人数</td><td>1,158</td><td>1,962</td><td>2,801</td><td>5,000</td><td>-</td><td>5,000</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08	人数	1,158	1,962	2,801	5,000	-	5,000	☀️ (向上) 達成 状況 ■■■ (低)
	項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08														
人数	1,158	1,962	2,801	5,000	-	5,000															

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・いわゆる団塊の世代（昭和22年から24年生まれ）が75歳以上になる令和7年には、人口に占める65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）が37.8%に達し、その後も引き続き上昇が見込まれています。
- ・高齢者が社会参加し、生きがいを持ち、健康で安心して生活が送れるよう大学や関係団体等と連携した介護予防対策を推進していきます。
- ・高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるよう、医療と介護の連携、介護予防、権利擁護など高齢者を地域全体で支える体制づくり（地域包括ケアシステム）をさらに推進していきます。
- ・認知症に対する理解を広め、認知症の方やその家族の視点を意識しながら、認知症になっても希望をもって生活できる地域づくりに取り組んでいきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合（％）	成果	95.7	95.7	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
介護保険サービスの満足度（％）	成果	77.4	73.6	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	社会参加している高齢者の割合（％）	成果	47.3	47.2	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
01	生きがいを持っている高齢者の割合（％）	成果	43.8	46	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	要支援 要介護認定者の新規該当者の平均年齢（歳）	成果	81.7	81.7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
02	支えあいや仕組みで見守られている高齢者数（のべ）（人）	成果	382	392	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	相談先がある高齢者の割合（％）	成果	78.5	74.7	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	認知症サポーター養成講座受講者数（人）	成果	121	67	☂ (低下)	☂ (低下)	○
04	在宅で生活している要介護認定者の割合（％）	成果	62.5	60.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
04	施設入所待機率（％）	成果	5.2	4.5	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
04	受給者 1人あたり給付月額（在宅、居住系サービス）の千葉県平均に対する割合（％）	成果	96.1	94.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	高齢者の人権が損なわれた件数（虐待 権利の相談件数）（件）	成果	330	226	☂ (低下)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 01 高齢者福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 65歳以上の市民（高齢者） ・ 介護保険被保険者（40歳以上）	・ 高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活を送れます。

施策の成果状況と評価

指標	介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	96.1	95.7	95.7	97	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の介護認定を受けずに生活している65歳から74歳までの高齢者の割合は、95.7%で、基準値と比較して0.4ポイント減少し、前年度と比較して変化はありませんでした。 < 原因 > 65歳以上、75歳未満の年齢層の平均年齢は前年度から上昇していますが、介護認定を受けずに生活している高齢者の割合に変化はありませんでした。平均年齢が上がっても、介護予防が図られ、重症化する高齢者が少ないことが要因と考えられます。介護状態にならずに在宅で生活できるよう、今後も介護予防事業の推進を図ります。 (R5：69.71歳、R6：69.73歳)	(%)					対前年度 ☀ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (低)
指標	介護保険サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	80.9	77.4	73.6	83	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の介護保険サービスの満足度は73.6%で、基準値と比較して7.3ポイント減少、前年度と比較して3.8ポイント減少しました。 < 原因 > 制度の複雑さやサービスに制限があることから、希望通りの利用がしづらいと感じている方が多いことが要因と考えられます。窓口での制度の丁寧な説明や、きめ細やかな相談対応を行い、スムーズなサービスの利用につなげられるよう取り組みます。	(%)					対前年度 ☁ (横ばい)
							達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生きがいづくりと介護予防の推進

基本事業 02 暮らしを支えるサービスの充実

基本事業 03 支えあいの仕組みづくりの促進

基本事業 04 介護保険サービスの推進と適正運営

基本事業 05 高齢者の人権尊重

基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標	社会参加している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	39.6	47.3	47.2	50	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の社会参加している高齢者の割合（「時々参加している」を含む）は47.2%で、基準値と比較して7.6ポイント増加、前年度と比較して0.1ポイント減少しました。 < 原因 > 社会参加している高齢者の割合は変わりありませんが、「社会参加していない」と回答した方は43.3%で、前年度47.9%より4.6ポイント減少しています。コロナ感染症の5類移行に伴い、全体的に外出機会が増加傾向にあり、前年度に引き続き、各種教室を効果的に周知し、社会参加につなげられたことが要因と考えます。						(向上)
							☁
							(横ばい)
							☀

基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	43.2	43.8	46	50	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の生きがいを持っている高齢者の割合は46.0%で、基準値と比較して2.8ポイント増加、前年度と比較して2.2ポイント増加しました。 < 原因 > 社会福祉協議会やシルバー人材センター等の関係機関とともに、測定会や健康教室で、サークル活動や集い・通い・交流の場等への接続を図ったことから、特に「趣味・娯楽」に生きがいを感じる高齢者の割合が増えたことが要因と考えます。男女比は男性43.9%・女性47.8%となっており、誰でも参加しやすい事業展開に努めます。						(横ばい)
							☀
							(横ばい)
							☀

基本事業01 生きがいづくりと介護予防の推進

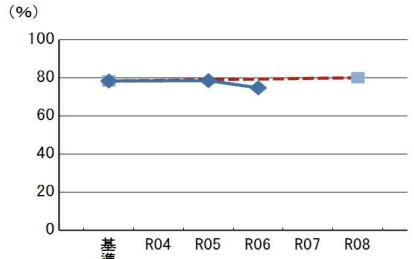
指標	要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	歳	80.4	81.7	81.7	82	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の要支援・要介護認定者の新規該当者の平均年齢は81.7歳で、基準値と比較して1.3歳増加、前年度と比較して変化はありませんでした。 < 原因 > 介護予防や健康教室(運動教室)等の実施により、団塊の世代の高齢者が健康を維持しながら生活できていることが要因と考えられます。						(向上)
							☀
							(横ばい)
							☀

基本事業02 暮らしを支えるサービスの充実

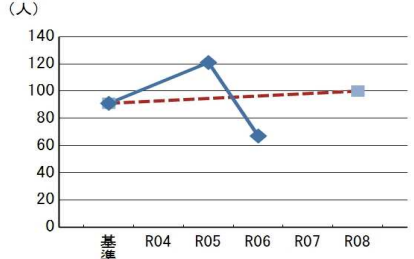
指標	支えあいや仕組みで見守られている高齢者数(のべ)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	人	388	382	392	420	☀
評価	< 状況 > 令和6年度の支えあいや仕組みで見守られている高齢者の数は392人で、基準値と比較して4人増加、前年度と比較して10人増加しました。 < 原因 > 緊急通報ネットワーク事業372人、高齢者見守りネットワーク事業20人で、緊急通報装置は主に包括支援センターや民生委員による周知・情報提供により新規設置に繋がっていると思われますが、携帯電話保有者数の増加にあわせ、携帯電話の機能等を利用した見守りサービスの利用普及もあり、微増となっていると思われます。						(横ばい)
							☀
							(横ばい)
							☀

□ 基本事業の成果状況と評価

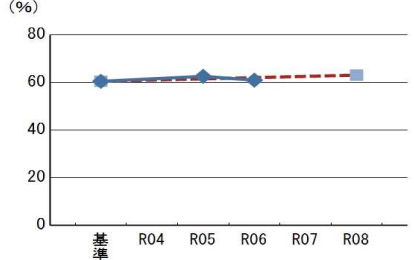
基本事業03 支えあいの仕組みづくりの促進

指標	相談先がある高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	78.3	78.5	74.7	80	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の相談先がある高齢者の割合は74.7%で、基準値と比較して3.6ポイント減少、前年度と比較して3.8ポイント減少しました。 < 原因 > 相談先として家族、友人・知人・隣近所、医療機関の順位には変わりはありませんが、家族や他者との関りが減少している傾向にあることが原因と考えます。						☂ (低下)
		(%)					対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■ (低)

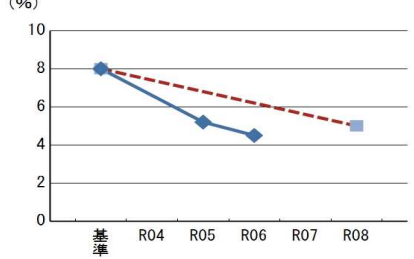
基本事業03 支えあいの仕組みづくりの促進

指標	認知症サポーター養成講座受講者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	人	91	121	67	100	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の認知症サポーター養成講座受講者数は67人で、基準値と比較して24人減少し、前年度と比較して54人減少しました。 < 原因 > 認知症普及啓発事業である映画会の会場で講座の周知活動を行いました但し申込みが伸びなかったこと、インフルエンザの流行で小学校での講座開催の中止が重なったことが要因と考えます。						☂ (低下)
		(人)					対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■ (低)

基本事業04 介護保険サービスの推進と適正運営

指標	在宅で生活している要介護認定者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	60.4	62.5	60.9	63	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の在宅で生活している要介護認定者の割合は60.9%で、基準値と比較して0.5ポイント増加、前年度と比較して1.6ポイント減少しました。 < 原因 > 要介護認定者で、居宅サービスを利用された方の割合及び施設サービスを利用された方の割合は共に減少しており、サービスを利用せずに在宅で生活されている方が増えています。全体で見ると、在宅で生活できる要介護認定者は増加傾向にあり、重度化せずに住み慣れた地域で生活することができる方が増えていると考えられます。						☀ (横ばい)
		(%)					対前年度 ☁ (横ばい) 達成状況 ■ (低)

基本事業04 介護保険サービスの推進と適正運営

指標	施設入所待機率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	8	5.2	4.5	5	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の施設入所待機率は4.5%で、基準値と比較して3.5ポイント減少、前年度と比較して0.7ポイント減少し、目指そう値を達成しました。 < 原因 > 令和3年度から4年度にかけて近隣市町に特別養護老人ホームが3施設240床開設されており、施設入所が進んでいることが要因と考えられます。 (令和7年1月末現在 特養待機者100名)						☀ (横ばい)
		(%)					対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 介護保険サービスの推進と適正運営

指標	受給者1人あたり給付月額（在宅、居住系サービス）の千葉県平均に対する割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	%	95.4	96.1	94.1	100	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の受給者1人あたり給付月額（在宅、居住系サービス）の千葉県平均に対する割合は94.1%で、基準値と比較して1.3ポイント減少、前年度と比較して2ポイント減少しました。 < 原因 > 令和6年度千葉県平均月額22,282円に対して山武市月額は20,967円でした。必要なサービスを選択し、利用される方が多いことが要因と考えられます。要介護認定者や介護者が在宅で生活しやすくなるよう、よりその方の生活ニーズに合ったサービスの提供がなされるよう制度の周知を図ります。						☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							達成状況 (低)

基本事業05 高齢者の人権尊重

指標	高齢者の人権が損なわれた件数（虐待・権利の相談件数）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	件	185	330	226	-	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の高齢者の人権が損なわれた件数（虐待・権利の相談件数）は226件で、基準値と比較して41件増加し、前年度と比較して104件減少しました。 < 原因 > 基準値である令和3年度はコロナ禍で、社会生活が日常に戻ったことが影響し、権利擁護と虐待相談が表面化してきたことが原因と考えます。前年度より減少したことは、虐待等の早期発見・早期対応の効果が表れているものと考えます。						☂ (低下)
							☂ (低下)
							達成状況 (向上)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・障がい者が自ら望む地域生活を営む事ができるよう、生活と就労に関する支援の一層の充実を図るとともに、発達支援が必要な児童のニーズにきめ細かく対応するための支援の充実に取り組みます。
- ・専門機関や関係機関と連携し、障がいのある人の高齢化・重度化や親亡き後を見据えた居住支援体制の整備、地域包括ケアシステムの構築及び相談体制の充実に取り組みます。
- ・法改正の動向、社会情勢の変化を踏まえつつ、障がいのある方の置かれた環境や障がいの特性に応じて、地域で安心して社会参加し自立できるよう支援の充実を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
障がい者の特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）（％）	成果	1.91	2.19	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
在宅で生活している障がい者の割合（％）	代替	97.2	97.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自立支援給付サービスの実利用者数（人）	代替	542	530	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	地域生活支援サービス利用者数（のべ）（人）	代替	427	473	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
03	障がい児通所支援の利用者数（人）	成果	225	234	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合（％）	代替	88.8	90	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	障がい者（児）の権利が損なわれている件数（虐待 権利）（件）	成果	3	5	☂ (低下)	☂ (低下)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 障がい者等	・ 障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果状況と評価

指標	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	1.88	1.91	2.19	2.3	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の就業している障がい者の割合は2.19%で 基準値と比較して0.31ポイント増加、前年度と比較して0.28ポイント増加しました。 < 原因 > 全ての事業主は、従業員の一定割合以上の障がい者を雇用することが義務付けられており、今後も引き上げが予定されている障害者雇用率に対応していくため、企業での障害者雇用が進んだことが要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■ (中)
指標	在宅で生活している障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	97.2	97.2	97.1	97.4	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の在宅で生活している障がい者の割合は97.1%で基準値、前年度と比較して、ともに0.1ポイント減少しました。 < 原因 > 障がい者の利用ニーズの把握や居宅介護サービス等の利用促進に努めていますが、障害程度が重くなり在宅で生活できなくなった障害者は一定程度おり、施設入所者が増加したことが要因と考えられます。						対 前年度 ☁ (横ばい) 達成 状況 ■■ (低)

基本事業	01	自立支援サービスの促進
基本事業	02	地域生活支援の促進
基本事業	03	発達が気になる子への支援
基本事業	04	障がいのある人の人権尊重

指標	自立支援給付サービスの実利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【社会福祉課】	人	542	542	530	697															
評価	< 状況 > 令和6年度の自立支援給付サービスの利用者数は530人であり、基準値、前年度と比較し、ともに12人減少しました。 < 原因 > 利用者数は微減していますが、各手帳交付や窓口相談の際に自立支援給付サービスの説明を行い、周知を努めたことにより一定の利用者数を、維持している要因と考えられます。	(人) <table border="1"> <caption>利用者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>697</td> </tr> </tbody> </table>					項目	値	基準	542	R04	542	R05	530	R06	530	R07	530	R08	697	(向上) 対 前年度 (向上) 達成 状況 (達成)
	項目	値																			
基準	542																				
R04	542																				
R05	530																				
R06	530																				
R07	530																				
R08	697																				

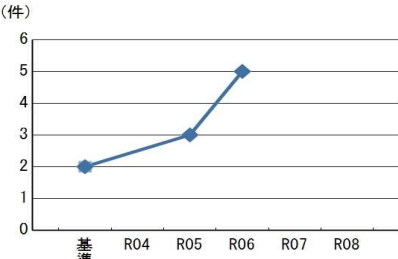
指標	地域生活支援サービス利用者数（のべ）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【社会福祉課】	人	201	427	473	376	 (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の地域生活支援サービス利用者数は473人であり、基準値と比較して272人増加、前年度と比較して46人増加しました。 < 原因 > 山武都市基幹相談支援センターが認知されてきたことや関係機関の連携が密になったことにより相談件数が増え、また障がい者のしおりを活用し、周知に努めたことにより増加した要因と考えられます	(人)					 (向上) 対 前年度 (横ばい)
							 達成 状況 (達成)

指標	障がい児通所支援の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																		
	【社会福祉課】	人	193	225	234	308																			
評価	< 状況 > 令和 6 年度の障がい児通所支援の利用者数は、児童発達支援58人・放課後等デイサービス176人合計234人であり、基準値と比較して41人増加、前年度と比較し9人増加しました。 < 原因 > 各手帳交付時における障がい児通所支援の説明や障がい児支援を切れ目なく行うため、関係部署と相互支援を行ったことにより増加に繋がった要因と考えられます。	(人) <table border="1"> <caption>障がい児通所支援の利用者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数 (人)</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>193</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>225</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>234</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>234</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>308</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用者数 (人)	基準値	基準	193	193	R04	225	193	R05	234	193	R06	234	193	R08	308	193	(横ばい) 対 前年度 (横ばい) 達成 状況 (中)
	年度	利用者数 (人)	基準値																						
基準	193	193																							
R04	225	193																							
R05	234	193																							
R06	234	193																							
R08	308	193																							

指標	切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値												
	【社会福祉課】	%	91	88.8	90	100													
評価	< 状況 > 令和 6 年度の切れ目のない支援のため発達について対応を検討した子どもの割合は90.0%で、基準値と比較し1ポイント減少し、前年度と比較し1.2ポイント向上しました。 < 原因 > 切れ目ない支援を行うため会議において検討した児童は10人であり、9人についてはサービスを継続しましたが、1名については年度末までにサービスに結びつかなかったことが要因です。	(%) <table border="1"> <caption>発達支援に関する割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>88.8</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	91	R04	90.0	R05	88.8	R06	90	R08	100	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)
	年度	割合 (%)																	
基準	91																		
R04	90.0																		
R05	88.8																		
R06	90																		
R08	100																		

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 障がいのある人の人権尊重

指標	障がい者(児)の権利が損なわれている件数(虐待・権利) 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	2	3	5	-	☂ (低下)
評価	<状況> 令和6年度の障がい者(児)の権利が損なわれている件数(虐待・権利)において、虐待件数は5件、差別相談件数は0件であり、基準値と比較して3件増加、前年度比較し2件増加しました。 <原因> 虐待件数は5件で3件増加しましたが、通報者は当事者ではなく支援者からのものであり、虐待に対する意識の向上により通報回数が増えた要因と考えられます。	(件) 					☂ (低下)
							☂ (低下)
							達成 状況

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・がん、心臓病、脳卒中は、市における死因の44.4%を占めています。その原因となる可能性が高い生活習慣病の発症予防や重症化予防対策を強化していきます。
- ・市内の自殺率は、減少傾向にありますが、引き続き、関係部署と連携し、個別支援に取り組んでいきます。
- ・妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進のため、健診や相談支援の充実に取り組んでいきます。
- ・子どものむし歯保有者率は、年々減少傾向ですが、県平均より高い状況にあるため、対策の充実を図ります。
- ・医療・保健・介護を健診から在宅まで三位一体で切れ目なく地域住民に提供し、安心して暮らすことができる医療環境の整備を実施します。
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療制度の一人当たり総医療費が増加しています。急激な医療費増加を抑えるため、特定健康診査等受診率の向上及び生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策に取り組めます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)()	成果	2.41	2.31	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
生活習慣病死亡率(%)	成果	51	44.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)(項目)	成果	3.6	3.55	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
01	人口10万人当たり自殺率()	成果	24.44	14.47	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	特定健康診査受診率(%)	成果	42.1	42.6	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
02	後期高齢者健康診査受診率(%)	成果	28	30.2	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	がん検診を年1回受けている市民の割合(%)	成果	40.5	48.1	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(%)	成果	32.4	32.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	乳幼児健診の受診率(%)	成果	92	93.2	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	乳児面接実施率(%)	成果	99.4	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	幼児(3歳)のむし歯保有者率(%)	成果	10.6	14.8	☀ (向上)	☂ (低下)	○
04	小学生のむし歯保有者率(%)	成果	41.6	42.8	☂ (低下)	☂ (低下)	○
05	麻しん・風しん混合(MR)予防接種率(%)	成果	91.5	90	☂ (低下)	☂ (低下)	○
05	新型コロナウイルスワクチン接種率(%)	成果	0.4	-	---	---	○
06	かかりつけ医を持っている市民割合(%)	成果	64.9	69.6	☀ (向上)	☀ (向上)	○
06	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合(%)	成果	63.5	67.6	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
07	1人当たりの国民健康保険総医療費(円)	社会	378,784	385,680	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
07	1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費(円)	社会	788,869	798,122	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
07	特定疾病療養受療証新規交付数(人)	成果	10	6	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

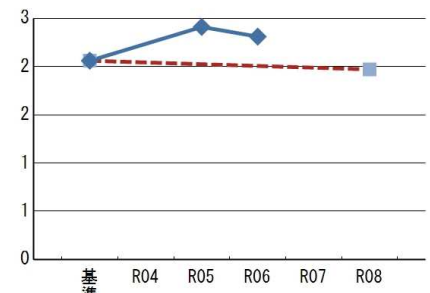
政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

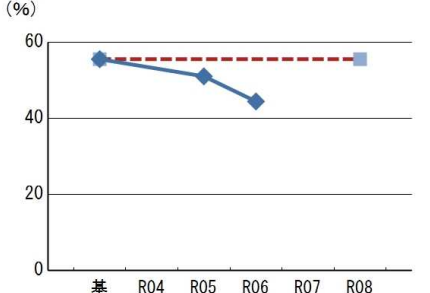
施策 03 健康づくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

施策の成果状況と評価

指標	人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】		2.06	2.41	2.31	1.97	☂ (低下)
評価	< 状況 > 人口千人当たりの15歳から64歳までの病気等での死亡率(ケガ、事故を除く)は2.31で、基準値と比較して0.25ポイント増加、前年度と比較して0.1ポイント減少しました。 < 原因 > 働き盛りの年齢層の方は、仕事が忙しく健康に関する関心が低く受診が遅くなっている可能性があります。健(検)診・早期受診の必要性を更に啓発していく必要があります。						対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

指標	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	55.5	51	44.4	55.5	☀ (向上)
評価	< 状況 > 生活習慣病死亡率は44.4%で、基準値と比較して11.1ポイント減少、前年度と比較し6.6ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > がん・心疾患・脳血管疾患による死亡率がいずれも減少しており、健康教育や健康相談等での啓発活動が一定の効果を上げたと考えられます。						対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ■■■ (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	心身の健康管理の充実
基本事業	02	健診の受診率向上と生活習慣の改善
基本事業	03	母子の健康管理
基本事業	04	子どものむし歯対策の推進
基本事業	05	感染症等対策の推進
基本事業	06	医療体制の充実
基本事業	07	健康保険制度の安定的な運営

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】	項目	3.92	3.6	3.55	4	☂ (低下)
評価	<状況> 令和6年度の1人当たりの健康づくり取組項目数は3.55項目で、基準値と比較して0.37項目減少、前年度と比較して0.05項目減少しました。 <原因> 食生活に関する健康づくり取組項目数の減少、20～40歳代の取組項目数が低くなっています。育児や仕事が忙しく健康に対する関心が低いことが要因と考えられます。	(項目)					☂ (低下)
							☂ (低下)

基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	人口10万人当たり自殺率	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【健康支援課】		19.87	24.44	14.47	19.54	☀ (向上)
評価	<状況> 人口10万人当たり自殺率は14.47で、基準値と比較して5.4ポイント減少、前年度と比較して9.97ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 <原因> 自殺原因となっている健康・経済・生活問題の相談窓口の周知や関係課・関係機関との連携を強化し支援したことが自殺率の減少の要因の1つとなっていると考えられます。						☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	特定健康診査受診率	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【国保年金課】	%	35.6	42.1	42.6	44.5	☀ (向上)
評価	<状況> 令和6年度の特定健康診査受診率は42.6%で、基準値と比較して7ポイント増加、前年度と比較して0.5ポイント増加しました。 <原因> 健診未受診者に、過去の健診受診歴や医療機関受診状況等を分析し、それぞれの特性に合わせた葉書による受診勧奨を実施したことや、市内契約医療機関にて受診できる個別健診の受診対象期間を2か月間延長したことが要因と考えられます。	(%)					☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	後期高齢者健康診査受診率	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
	【国保年金課】	%	21.4	28	30.2	28.5	☀ (向上)
評価	<状況> 令和6年度の後期高齢者健康診査受診率は30.2%で、基準値と比較して8.8ポイント向上し、前年度と比較して2.2ポイント向上し、めざそう値を達成しました。 <原因> 広報紙やホームページ等による効果的な受診勧奨ができたことと、個別・集団健診を併用実施したことが要因と考えられます。	(%)					☀ (向上)
							☀ (向上)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	がん検診を年1回受けている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	41.1	40.5	48.1	50.3	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のがん検診を年1回受けている市民の割合は48.1%で、基準値と比較して7.0ポイント増加、前年度と比較して7.6ポイント増加しました。 < 原因 > 前年度受診者に受診勧奨はがきを送付したことが増加した要因と考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	33.6	32.4	32.5	29.9	☀️ (横ばい)
評価	< 状況 > メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、32.5%で、基準値と比較して1.1ポイント減少、前年度と比較して0.1ポイント増加しました。 < 原因 > 特定保健指導対象者に手紙や電話等で保健指導への参加勧奨を実施していますが、繰り返し対象となる方が多いため、参加率が低く、生活改善に繋がっていないことが要因の1つと考えられます。						☀️ (横ばい)
							☀️ (横ばい)

基本事業03 母子の健康管理

指標	乳幼児健診の受診率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	94.9	92	93.2	95	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の乳幼児健診の受診率は93.2%で、基準値と比較して1.7ポイント減少し、前年度と比較して、1.2ポイント増加しました。 < 原因 > 未受診者の内訳では、外国籍の方の割合が高く、外国籍の方の増加に伴い、受診率も低下したことが要因であると考えます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

基本事業03 母子の健康管理

指標	乳児面接実施率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	100	99.4	100	100	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の乳児面接実施率は100%で、基準値と同値であり、前年度と比較して、0.6ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 乳児全戸訪問事業として、家庭訪問で面接、家庭訪問が叶わない場合には来所による相談と、それぞれの家庭事情にあわせた対応を行い、対象者全員に面接ができました。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 子どものむし歯対策の推進

指標	幼児（３歳）のむし歯保有者率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【健康支援課】	%	16.5	10.6	14.8	14	☀
評価	< 状況 > 令和 6 年度の幼児（３歳）のむし歯保有者率は14.8%であり、基準値と比較して1.7ポイント減少し、前年度と比較して、4.2ポイント増加しました。 < 原因 > 幼児の出生時から継続的に歯科健診やむし歯予防の啓発、個々への相談・指導を行っていますが、むし歯保有者の内訳では、外国籍の方のむし歯保有者率が85%と高いことが、全体のむし歯保有者率増加の要因と考えられます。						(向上)
							☂ (低下) 達成状況 ■■■ (中)

基本事業04 子どものむし歯対策の推進

指標	小学生のむし歯保有者率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【健康支援課】	%	41.8	41.6	42.8	38	☂
評価	< 状況 > 令和 6 年度の小学生のむし歯保有者率は42.8%で、基準値と比較して1.0ポイント増加、前年度と比較して、1.2ポイント増加しました。 < 原因 > 外国籍の方の増加に伴い、むし歯のある児童の増加が要因であると考えられます。今後も歯科健康教室を通してむし歯予防の啓発に努めます。						(低下)
							☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業05 感染症等対策の推進

指標	麻しん・風しん混合（MR）予防接種率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【健康支援課】	%	93	91.5	90	95	☂
評価	< 状況 > 令和 6 年度の麻しん・風しん混合（MR）予防接種率は90.0%であり、基準値と比較して3.0ポイント減少し、前年度と比較して、1.5ポイント減少しました。 < 原因 > 製造事業者3者の内1者の製造ワクチンが承認規格を下回り、ワクチン供給量に不足が生じたことと、12月頃からインフルエンザ等感染症が流行し受診控えがあったことが、接種率減少の要因と考えます。						(低下)
							☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業05 感染症等対策の推進

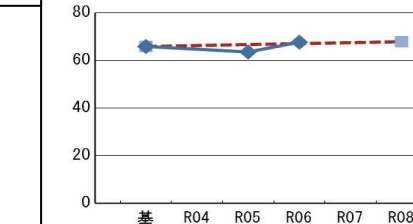
指標	新型コロナウイルスワクチン接種率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	めざそう値（R08）	対基準値
	【健康支援課】	%	88.3	0.4	-	-	---
評価	< 状況 > 新型コロナウイルスワクチン接種率は令和 5 年度を最後に取得不能となりました。 < 原因 > 新型コロナウイルスワクチンは、令和 6 年 4 月 1 日に予防接種法施行令が改正され高齢者の定期予防接種となったため、12歳以上の接種率を計測することが不能となったためです。						---

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業06 医療体制の充実

指標	かかりつけ医を持っている市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【健康支援課】	%	65.8	64.9	69.6	67.5															
評価	< 状況 > 令和6年度のかかりつけ医を持っている市民割合は69.6%で、基準値と比較して3.8ポイント向上、前年度と比較して4.7ポイント向上し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 将来的な医療ニーズへの備えとしてかかりつけ医の必要性を感じている市民割合が増えてきている傾向と考えられ、テレビCMやyoutube中のCMといった厚生労働省が広く呼び掛けて行った戦略が、特に10歳代と若い層を中心に影響を与えたことが増加要因と考えられます。	(%) <table border="1"><caption>Graph Data</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Value (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>65.8</td></tr><tr><td>R04</td><td>65.8</td></tr><tr><td>R05</td><td>64.9</td></tr><tr><td>R06</td><td>69.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>69.6</td></tr><tr><td>R08</td><td>69.6</td></tr></tbody></table>					Year	Value (%)	基準	65.8	R04	65.8	R05	64.9	R06	69.6	R07	69.6	R08	69.6	(向上)
		Year	Value (%)																		
		基準	65.8																		
		R04	65.8																		
R05	64.9																				
R06	69.6																				
R07	69.6																				
R08	69.6																				
						対 前年度															
						(向上)															
値						達成 状況															
						(達成)															

基本事業06 医療体制の充実

指標	休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【健康支援課】	%	65.8	63.5	67.6	67.8	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の休日、夜間の救急医療をどこで受診できるかを自らで調べられる市民割合は67.6%で、基準値と比較して1.8ポイント向上、前年度と比較して4.1ポイント向上しました。 < 原因 > 市民への周知・広報啓発として、公式SNSを利用したことが効果的に作用したものと考えられます。	(%) 					(横ばい)
							対前年度
							 (向上)
							達成状況
値							 (高)

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	1人当たりの国民健康保険総医療費	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		円	358,610	378,784	385,680	415,727	
		【国保年金課】	(円)				
評価	< 状況 > 令和 6 年度の 1 人当たりの国民健康保険総医療費は385,680円で、基準値と比較して27,070円増加、前年度と比較して6,896円増加しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 医療費の増加は、被保険者の高齢化や医療技術の高度化が原因と考えますが、健診受診率の向上及び保健指導等の実施による重症化予防意識の向上やジェネリック医薬品利用促進の周知等により増加率が抑制されていると考えます。						対 前年度
							(横ばい)
							達成 状況
							(達成)

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値	
		円	752,399	788,869	798,122	830,709		
	【国保年金課】	(円)					(横ばい)	
評価	< 状況 > 令和6年度の1人当たりの後期高齢者医療制度総医療費は798,122円で、基準値より45,723円増加、前年度と比較して9,253円増加しましたが、めざそう値は達成しました。 < 原因 > 医療費の増加は、医療技術の高度化が原因と考えられますが、健康診査受診率向上と効果的な保健事業の実施により、医療費の適正化が図られていると考えます。						対 前年度	
						(横ばい)		
						達成 状況		(達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業07 健康保険制度の安定的な運営

指標	特定疾病療養受療証新規交付数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【国保年金課】	人	11	10	6	11	☀ (向上)														
評価	< 状況 > 令和 6 年度の特定疾病療養受療証の新規交付数は 6 件で、基準値より 5 件減少、前年度と比較して 4 件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 特定保健指導や糖尿病の発症予防に関する周知を実施したことで、被保険者の疾病及び重症化に対する予防意識が向上したことが要因と考えられます。	(人) <table><caption>特定疾病療養受療証新規交付数推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>交付数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>11</td></tr><tr><td>R04</td><td>10</td></tr><tr><td>R05</td><td>10</td></tr><tr><td>R06</td><td>6</td></tr><tr><td>R07</td><td>6</td></tr><tr><td>R08</td><td>11</td></tr></tbody></table>					年度	交付数 (人)	基準	11	R04	10	R05	10	R06	6	R07	6	R08	11	☀ (向上)
		年度	交付数 (人)																		
基準	11																				
R04	10																				
R05	10																				
R06	6																				
R07	6																				
R08	11																				
							☀ (向上)														
							達成 状況														
							🏰 (達成)														

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・共働き世帯やひとり親家庭の増加等、家庭の状況が変化し、3歳未満時の保育や長時間保育の需要が高まっています。
- ・子育て支援センターにて育児等の相談を受け、子育ての不安を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。
- ・子育てにおける経済的負担の軽減はニーズが高く、市では引き続き高校生年代までの医療費を助成し、保護者の経済的な負担軽減を図ります。
- ・一部の学童クラブでは、利用登録者数が定員を超過しており、支援員の配置数を増やす等の対応を取っています。指定管理者と連携し、十分な支援員数の確保を進めます。
- ・妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援の充実に取り組んでいきます。
- ・結婚を希望する人を応援する事業を引き続き推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合（％）	成果	89.2	90	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合（％）	成果	89	89	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園 保育所・こども園の利用定員充足率（％）	成果	77.7	72.2	☂ (低下)	☂ (低下)	○
01	就学前保育 教育に関する保護者の満足度（％）	成果	96.3	95	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	一時保育 特別保育ニーズに対応できなかった件数（件）	成果	14	18	☂ (低下)	☂ (低下)	○
02	学童クラブの待機児童数（人）	成果	6	1	☂ (低下)	☀ (向上)	○
03	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合（％）	成果	90	93.7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
03	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	成果	90.2	87.3	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
03	各種子育て相談延べ件数（件）	代替	6,784	5,819	☀ (向上)	☂ (低下)	○
04	子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）（円）	代替	279,742	289,812	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	ひとり親家庭の自立率（％）	成果	12.6	13.01	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
05	児童虐待通告件数（件）	成果	77	83	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	児童に関する措置件数（件）	成果	1	0	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
06	出生者数(計画期間累計)(人)	成果	160	315	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
06	結婚する意欲のある独身者の割合（％）	成果	80.7	69.5	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 04 子育ての支援

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 児童（0～18歳未満） ・ 子育て家庭	子育て環境が整っており、安心して産む・育てることができます。

施策の成果状況と評価

指標	子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	93.4	89.2	90	95	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の子育てが幸せ、楽しいと思う就学前児の保護者の割合は90.0%で、基準値と比較して3.4ポイント減少しましたが、前年度よりも0.8ポイント上昇しました。 < 原因 > 育児に対しての不安の解消や、子育てしやすい環境整備等の支援の充実が図られたことが要因と考えられます。		(%)				対 前年度
							☀ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	92.2	89	89	94.4	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のこの地域で子育てをしたいと感じる就学前児の保護者の割合は89.0%で、前年度と同値となり、基準値と比較して3.2ポイント減少しました。 < 原因 > 周囲のサポート不足や子育ての悩みを一人で抱え込んでいる等が考えられ、相談支援体制の充実を望んでいることが原因と考えられます。		(%)				対 前年度
							☁ (横ばい)
							達成 状況
							■■■ (低)

基本事業	01	幼保機能の充実
基本事業	02	学童保育の充実
基本事業	03	子育て不安の軽減
基本事業	04	子育て家庭への援助
基本事業	05	こどもの人権の尊重
基本事業	06	次世代育成に係る家族形成の支援

指標	幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値										
	【子育て支援課】	%	82.9	77.7	72.2	80	⬇										
評価	< 状況 > 令和 6 年度の幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率は72.2%で、基準値と比較して10.7ポイント減少、前年度と比較して5.5ポイント減少しました。 < 原因 > 地域の少子化に伴い入園を希望する幼児が減少していることが原因と考えられます。今後、施設の統合や廃止の検討を含め、地域の実情に合わせた保育の提供が必要になると思われます。	<table border="1"> <caption>利用定員充足率の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>77.7</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>72.2</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>					項目	値 (%)	基準	82.9	R05	77.7	R06	72.2	R08	80	(低下) 対前年度 ⬇ (低下) 達成状況 ■■■ (低)
	項目	値 (%)															
基準	82.9																
R05	77.7																
R06	72.2																
R08	80																

指標	就学前保育・教育に関する保護者の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	96.9	96.3	95	98	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の就学前保育・教育に関する保護者の満足度は95.0%で、基準値と比較して1.9ポイント減少、前年度と比較して1.3ポイント減少しました。 < 原因 > 満足度調査を実施した結果、行事内容や悩みごとなどへの相談対応等について、保護者からの十分な要望、意見を反映できなかったことが原因と考えられます。						(横ばい) 対 前年度 (横ばい) 達成 状況 (低)

指標	一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値						
	【子育て支援課】	件	-	14	18	0	☂						
評価	< 状況 > 令和6年度のこども園における一時保育・特別保育ニーズに対応できなかった件数は18件で、前年度から4件増加しました。 < 原因 > 一時保育の利用者の多くは3歳未満児であり、当日の保育士の配置状況や園児数の関係により対応できなかったことが原因と考えられます。	(件) <table border="1"> <caption>実績値 (件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R05</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>					年度	件数	R05	14	R06	18	(低下) 対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)
	年度	件数											
R05	14												
R06	18												

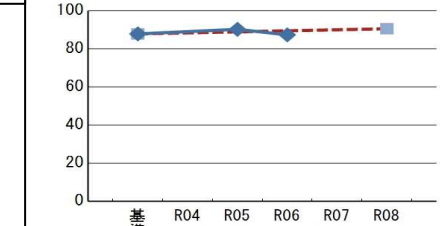
指標	学童クラブの待機児童数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		人	0	6	1	0	
	【子ども教育課】						
評価	< 状況 > 令和 6 年度の待機児童数は 1 人で、基準値と比較して 1 人増、前年度と比較して 5 人減少しました。 < 原因 > 令和 5 年度に発生していた大平学童クラブの待機児童は、令和 6 年度においては発生しませんでした。また、令和 6 年 4 月当初時点では成東学童クラブで待機児童が 1 人発生していましたが、年度途中での入所により、年度末時点での待機児童は 0 人でした。						(低下) 対 前年度 (向上) 達成 状況 (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

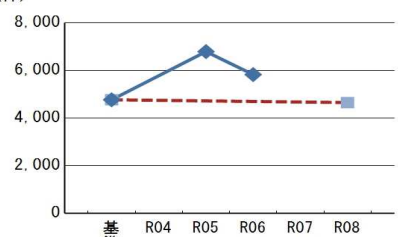
基本事業03 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる(方法を知っている)保護者の割合	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値														
	【子育て支援課】	%	86.3	90	93.7	91	☀️(向上)														
評価	<状況> 令和6年度の育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合は93.7%で、基準値と比較して7.4ポイント増加、前年度と比較して3.7ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 保護者が保育施設を利用することで保育士とのコミュニケーションが図られ、子育ての不安が少しずつ解消出来たことが要因と考えられます。	(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>86.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>88.7</td></tr><tr><td>R05</td><td>90.0</td></tr><tr><td>R06</td><td>93.7</td></tr><tr><td>R07</td><td>92.0</td></tr><tr><td>R08</td><td>91.0</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	86.3	R04	88.7	R05	90.0	R06	93.7	R07	92.0	R08	91.0	対前年度
		項目	値																		
		基準	86.3																		
		R04	88.7																		
		R05	90.0																		
R06	93.7																				
R07	92.0																				
R08	91.0																				
	☀️(横ばい)																				
	達成状況																				
	🏰(達成)																				

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	87.8	90.2	87.3	90.5	
評価	【子育て支援課】	(%)					(横ばい)
	< 状況 > 令和 6 年度の子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合は87.3%で、基準値と比較して0.5ポイント減少、前年度と比較して2.9ポイント減少しました。 < 原因 > 子育て世代において、子どもの社会性の発達過程への関心が高まり、乳幼児健診受診者が増加した一方で、子育て世代包括支援センター「はびねす」利用者が減少したことが原因と考えられます。						対 前年度
							
							(低下)
							達成 状況
							(低)

基本事業03 子育て不安の軽減

指標	各種子育て相談延べ件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
		件	4,762	6,784	5,819	4,645															
評価	【子育て支援課】 ＜状況＞ 令和6年度の各種子育て相談延べ件数は5,819件で、基準値と比較して1,057件増加、前年度と比較して965名減少しましたが、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ 相談延べ件数5,819件の内訳は、家庭児童相談係2,534件、保健センター事業3,014件、子育て支援センター271件でした。相談件数が減少した主な原因としては人口減少や妊娠届出の件数の減少が考えられます。	(件)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4,762</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>6,784</td></tr><tr><td>R06</td><td>5,819</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>4,645</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	4,762	R04	-	R05	6,784	R06	5,819	R07	-	R08	4,645	(向上)
		項目	値																		
		基準	4,762																		
		R04	-																		
		R05	6,784																		
R06	5,819																				
R07	-																				
R08	4,645																				
対前年度																					
																					
(低下)																					
達成状況																					
																					
(達成)																					

基本事業04 子育て家庭への援助

指標	子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
	【子育て支援課】	円	265,479	279,742	289,812	265,479																						
評価	<状況> 令和6年度の子育ての経済的負担軽減受給額（子育て1世帯あたり）は289,812円で、基準値と比較して24,333円増加、前年度と比較して10,070円増加し、めざそう値を達成しました。 <原因> 児童手当について、令和6年10月に法改正が行われ、対象児童の拡大及び所得制限の撤廃等により受給額が増加したことによるものと思われます。	(円) <table border="1"><caption>Childcare Economic Burden Reduction Benefit Amount (円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>基準値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>265,479</td><td>265,479</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td><td>265,479</td></tr><tr><td>R05</td><td>279,742</td><td>265,479</td></tr><tr><td>R06</td><td>289,812</td><td>265,479</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td><td>265,479</td></tr><tr><td>R08</td><td>265,479</td><td>265,479</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	基準値	基準	265,479	265,479	R04	-	265,479	R05	279,742	265,479	R06	289,812	265,479	R07	-	265,479	R08	265,479	265,479	(横ばい)
		年度	実績値	基準値																								
		基準	265,479	265,479																								
		R04	-	265,479																								
		R05	279,742	265,479																								
R06	289,812	265,479																										
R07	-	265,479																										
R08	265,479	265,479																										
	対 前年度																											
	(横ばい)																											
	達成 状況																											
	(達成)																											

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 子育て家庭への援助

指標	ひとり親家庭の自立率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子育て支援課】	%	11.08	12.6	13.01	11.08
評価	< 状況 > 令和6年度のひとり親家庭の自立率は13.01%で、基準値と比較して1.93ポイント増加、前年度と比較して0.41ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 児童扶養手当受給者数が35人減少し、本人所得超過により全部支給停止となった方が3人減少したことによるものです。						(向上)
							対前年度 (横ばい) 達成状況 (達成)

基本事業05 こどもの人権の尊重

指標	児童虐待通告件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子ども教育課】	件	73	77	83	-
評価	< 状況 > 令和6年度の児童虐待通告件数は83件で、基準値と比較して10件増加、前年度と比較して6件増加しました。 < 原因 > 児童虐待防止の周知活動により通告義務が認知され、児童虐待を潜在化させず通告につながっていることが要因であると思われます。また、きょうだいのいる家庭の通告が多かったことが件数増加の要因となっています。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 ---

基本事業05 こどもの人権の尊重

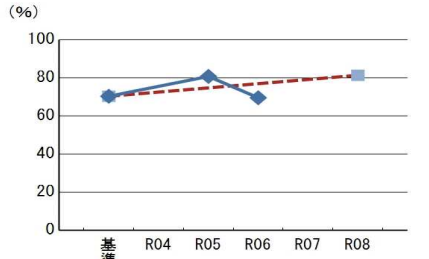
指標	児童に関する措置件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【子ども教育課】	件	0	1	0	-
評価	< 状況 > 令和6年度の児童に関する措置件数は0件で、基準値と比較して同数、前年度と比較して1件減少しました。 < 原因 > 母子生活支援施設及び助産施設への措置は発生しませんでした。様々な問題を抱える家庭に対し関係機関との連携により各種制度の案内や支援を行ってきたことが要因と思われます。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 ---

基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	出生者数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		【企画政策課】	人	200	160	315	800
評価	< 状況 > 令和6年の出生者数は155人で、基準値より45人減少、前年度より5人減少しました。(計画期間累計315人/期待値800人) < 原因 > 令和6年の国全体の出生数は68万6061人と過去最低を更新しました。若年者の減少に加え、女性の平均初婚年齢も引き続き上昇するなど晩婚化が進行していることが原因と思われます。						(低下) 対前年度 (横ばい) 達成状況 (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	結婚する意欲のある独身者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【企画政策課】	%	70.3	80.7	69.5	81.3	
評価	< 状況 > 令和6年度の結婚する意欲のある独身者の割合は69.5%で、基準値と比較して0.8ポイント、前年度と比較して11.2ポイント減少しました。 < 原因 > 昨年度のアンケート結果と比較すると、「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」と「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が大きく伸びており、ライフスタイルの多様化が減少の一因であると考えられます。	(%)  基準 R04 R05 R06 R07 R08					(横ばい)
							対 前年度  (低下) 達成 状況  (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・国では、社会的孤立や生活困窮等の問題も含め、全ての人々が地域、暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指しています。
- ・「社会福祉法」には、地域住民が自ら地域の生活課題を把握し、解決に向けて各種支援機関と連携しながら活動するということが、地域福祉の理念として掲げられています。一人でも多くの市民が地域活動に参加することのできる仕組みを整備し、地域活動の活性化を図ります。
- ・生活保護受給者の増加に加え、非正規雇用労働者や低所得の給与収入者など、生活に困窮するリスクの高い層が増加しているため、相談支援体制を強化します。
- ・生活保護受給者数は、高齢化により年々増加し、今後も増加が見込まれています。法改正により、自立支援機能が強化されており、受給者の自立支援に取り組んでいきます。
- ・老朽化が進行する公営住宅は、長寿命化計画に基づき、計画的な点検や修繕等を実施します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合（％）	成果	38.5	43.4	 (横ばい)	 (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	地域福祉活動をしている市民割合（％）	成果	8.8	10.5	 (低下)	 (横ばい)	○
01	福祉活動の市民活動団体の加入者数（人）	成果	1,461	1,473	 (横ばい)	 (横ばい)	○
02	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	成果	20,219	35,277	 (向上)	 (向上)	○
02	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数（日）	成果	75	81	 (向上)	 (横ばい)	○
03	生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合（％）	成果	21.3	34.4	 (向上)	 (向上)	○
04	自立による生活保護廃止件数（件）	成果	6	7	 (低下)	 (横ばい)	○
04	生活保護率（‰）	代替	9.65	10.48	 (低下)	 (低下)	○
05	公営住宅長寿命化進捗率（％）	成果	0	0	 (横ばい)	 (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 生活困窮者	地域での相互扶助や公的支援により安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	43.7	38.5	43.4	50	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の地域での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合は43.4%で、基準値より0.3ポイント減少、前年度より4.9ポイント増加しました。 < 原因 > 年代別では10歳代及び60歳以上の方の指標値の増加によるもので、地域福祉活動に関わる学生や高齢者の増加が要因と考えます。		(%)				対前年度
							☀ (向上)
							達成状況
							■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	地域福祉の担い手育成
基本事業	02	社会福祉機関・団体の充実
基本事業	03	生活困窮者自立支援の充実
基本事業	04	生活保護制度の適正な実施
基本事業	05	公営住宅の維持管理

基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	地域福祉活動をしている市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	16.6	8.8	10.5	19	☂ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の地域福祉活動をしている市民割合は10.5%で、基準値より6.1ポイント減少、前年度より1.7ポイント増加しました。 < 原因 > 年代別では70歳以上の方の指標値の増加によるもので、地域福祉活動に関わっている高齢者が増加した要因と考えます。						☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	福祉活動の市民活動団体の加入者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	人	1,448	1,461	1,473	1,500	☀ (横ばい) 対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
評価	< 状況 > 令和6年度の福祉活動の市民活動団体加入者数は1,473人で、基準値より25人、前年度より12人増加しました。 < 原因 > 前年度市民活動団体が9団体解散、10団体加入し、1団体増加したことが要因と考えます。						

基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	人	13,633	20,219	35,277	32,000	☀ (向上) 対前年度 ☀ (向上) 達成状況 🏰 (達成)
評価	< 状況 > 令和6年度の社会福祉協議会の実施した事業への参加者数は35,277人で、基準値より21,644人増加、前年度より15,058人増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 社会福祉協議会が実施している地区社協事業及び生活支援体制整備事業への参加者が増加したことが要因です。						

基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	日	65	75	81	90	☀ (向上) 対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (中)
評価	< 状況 > 令和6年度の民生委員児童委員1人当たりの年間活動日数は81日で、基準値より16日、前年度より6日増加しました。 < 原因 > 民生委員児童委員が活発に活動したことが要因と考えます。						

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生活困窮者自立支援の充実

指標	生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	25.4	21.3	34.4	25.4	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の生活困窮相談後の支援による改善が見られた割合は34.4%で、基準値より9ポイント、前年度より13.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 精神安定、家計改善、孤立の解消等の生活面での改善が多くみられたことが要因です。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							☀️ (達成)
							☀️ (達成)

基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	自立による生活保護廃止件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	件	12	6	7	12	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の自立による生活保護廃止件数は7件で、基準値と比較して5件減少し、前年度と比較して1件増加しました。 < 原因 > 前年度と比較して、稼働による廃止は同数であり、社会保障給付金による廃止は減少しましたが、親類・縁者等の引取りが4件増加するなど、日々のケースワークにおいて、関係機関と連携しながら地道に自立支援を継続していることが全体として1件増加の要因です。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
							☔️ (横ばい)
							☔️ (達成)
							☔️ (低)

基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	生活保護率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【社会福祉課】	%	8.86	9.65	10.48	10.91	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の生活保護率は10.48%で、基準値と比較して1.62ポイント増加し、前年度と比較して0.83ポイント増加しました。 < 原因 > 前年度と比較し、障害者・傷病・母子世帯は、大幅な増加はありませんが、高齢者世帯が9世帯、その他世帯が8世帯増加したことが要因です。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
							☔️ (達成)
							☔️ (中)

基本事業05 公営住宅の維持管理

指標	公営住宅長寿命化進捗率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【都市整備課】	%	0	0	0	74	☁️ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の公営住宅長寿命化進捗率は0%で、基準値、前年度と同値となりました。 < 原因 > 令和5年度に発注を予定していた改修設計業務について、人件費等の高騰により執行を見送り、令和6年度は、事業の見直し期間としたことが要因と考えます。						☁️ (横ばい)
							☁️ (達成)
							☁️ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模の適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。
- ・近年の教育課題として、子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。
- ・確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善に取り組みます。
- ・児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてICT 機器の有効活用に取り組みます。
- ・社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協働できる体制づくりを推進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
学校生活に満足している児童の割合 (%)	成果	91.5	91.7	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
学校生活に満足している生徒の割合 (%)	成果	94.9	92.1	☀ (向上)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	学力の定着が見られる児童の割合 (%)	成果	55.9	63.7	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	学力の定着が見られる生徒の割合 (%)	成果	49.3	48.2	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○
01	中学校卒業時に英語検定 3級以上を取得している生徒の割合 (%)	成果	41.7	45.2	☂ (低下)	☀ (向上)	○
02	生活習慣の改善に努めた生徒の割合 (%)	成果	5.6	6.8	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
02	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 (%)	成果	80.8	73.6	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	不登校児童の割合 (%)	成果	1.84	2.65	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	不登校生徒の割合 (%)	成果	7.93	8.14	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合 (%)	成果	94.3	94.7	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
04	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合 (%)	成果	71	62.2	☂ (低下)	☂ (低下)	○
04	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合 (%)	成果	59.3	63.3	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 (%)	成果	74.7	78	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	学校施設の不具合による学校生活支障件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	安全な給食を確実に提供できなかった件数 (件)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	複式学級(小学校)及び単学級(中学校)の出現数(校)	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
06	学校教育活動に協力した市民数(人)	成果	137	141	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
06	学校支援活動に協力した市民数(人)	成果	123	120	☂ (低下)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 児童 ・ 生徒	・ 学校生活に満足している児童生徒が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	学校生活に満足している児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	92	91.5	91.7	95	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の学校生活に満足している児童の割合は91.7%で、基準値と比較して0.3ポイント減少、前年度として比較して0.2ポイント増加しました。 < 原因 > 満足度が高い学校は、授業がわかりやすいと思っている児童の割合が高い傾向にあり、授業がわかりやすいと思っている児童の割合の増加が、学校生活の満足度の上昇につながった主な要因と考えられます。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)
指標	学校生活に満足している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	90.3	94.9	92.1	95	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の学校生活に満足している生徒の割合は92.1%で、基準値と比較して1.8ポイント増加、前年度と比較して2.8ポイント減少しました。 < 原因 > 学習意欲や授業理解に肯定的な回答をした生徒の割合が減少したことが原因と考えます。満足していないと回答した理由については、行事や部活よりも授業の割合が高くなっています。	(%) 基準 R04 R05 R06 R07 R08					対前年度 ☂ (低下) 達成状況 ■■■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

基本事業 02 「健やかな体」の育成

基本事業 03 「豊かな心」を育む

基本事業 04 ICT教育の実践

基本事業 05 教育環境の整備

基本事業 06 地域と学校の協力体制の推進

基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の定着が見られる児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	62	55.9	63.7	63	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の学力の定着が見られる児童は63.7%で、基準値と比較して1.7ポイント増加、前年度と比較して7.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 授業時数の適正化を図り、授業準備の時間確保に努めたことや、読解力向上を目指して令和6年度から導入した教材「よむYOMUワークシート」の成果が児童の学力の定着につながったと考えます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
評価							達成状況
							☀️ (達成)

基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の定着が見られる生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	55.3	49.3	48.2	56.3	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の学力の定着が見られる生徒の割合は48.2%で、基準値と比較して7.1ポイント減少、前年度と比較して1.1ポイント減少しました。 < 原因 > 教科ごとに見ると、数学科において県平均を超えた生徒数が少ない結果となりました。ICT機器の活用や指導形態の工夫を図ってはいないものの、数学科を苦手としている生徒が多いと考えます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
評価							達成状況
							☔️ (低)

基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

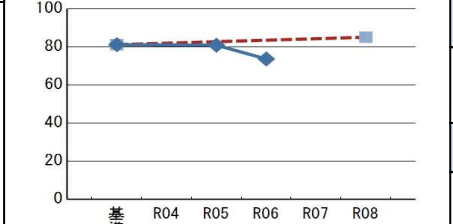
指標	中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	46.4	41.7	45.2	50	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合は45.2%で、基準値と比較して1.2ポイント減少、前年度と比較して3.5ポイント増加しました。 < 原因 > 個別最適な学びを推進するため、令和6年度からAI英会話学習システムを導入したことが取得率の向上につながったと考えられます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
評価							達成状況
							☔️ (低)

基本事業02 「健やかな体」の育成

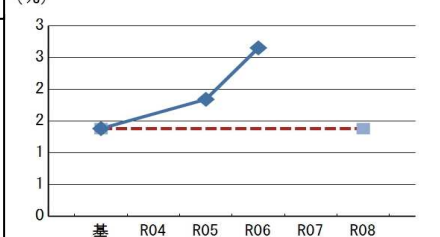
指標	生活習慣の改善に努めた生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	%	15.9	5.6	6.8	30	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の生活習慣の改善に努めた生徒の割合は6.8%で、基準値と比較して9.1ポイント減少、前年度と比較して1.2ポイント増加しました。 < 原因 > 小児生活習慣病健診で要医療・要指導となった生徒へチラシを配布し、養護教諭や保健師、栄養士による個別面談を実施できる体制を整え支援に努めていますが、生徒や保護者の健康意識を高めることは容易ではなく、面談や受診に繋がらないことが原因と考えられます。						☔️ (低下)
							☔️ (低下)
評価							達成状況
							☔️ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

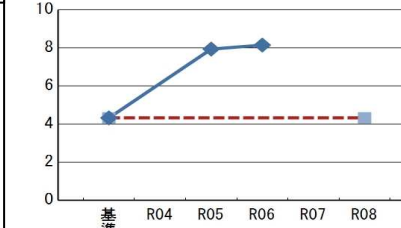
基本事業02 「健やかな体」の育成

指標	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【子ども教育課】	%	81.1	80.8	73.6	85															
評価	< 状況 > 令和 6 年度の朝食を毎日食べている児童・生徒の割合は73.6%で、基準値と比較して7.5ポイント減少、前年度に比べて7.2ポイント減少しました。 < 原因 > 毎日朝食を食べる児童・生徒の割合は、小学生が70.6%、中学生が76.0%で、小学生の大幅な減少が全体に影響していると考えられます。小学生の朝食習慣が変化した原因としては、生活リズムの変化（就寝・起床時間の乱れ）等が考えられます。	(%)  <table border="1"><caption>朝食を毎日食べている児童・生徒の割合の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>81.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>81.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>80.8</td></tr><tr><td>R06</td><td>73.6</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>85.0</td></tr></tbody></table>					年度	割合 (%)	基準	81.1	R04	81.1	R05	80.8	R06	73.6	R07	-	R08	85.0	(低下)
		年度	割合 (%)																		
基準	81.1																				
R04	81.1																				
R05	80.8																				
R06	73.6																				
R07	-																				
R08	85.0																				
							対 前年度														
																					
							(低下)														
							達成 状況														
																					
							(低)														

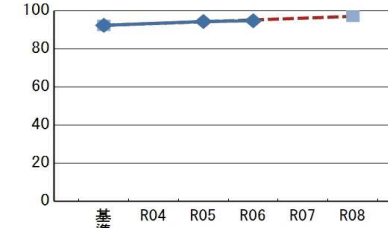
基本事業03 「豊かな心」を育む

指標	不登校児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【子ども教育課】	%	1.38	1.84	2.65	1.38															
評価	< 状況 > 令和 6 年度の不登校児童の割合は2.65%で、基準値と比較して1.27ポイント増加、前年度と比較して0.81ポイント増加しました。 < 原因 > 原因として、令和 6 年度本市小学校対象の調査では、無気力が61.4%と最も多く、次いで生活リズムの乱れ等が25.0%で続いています。（国や県でも不登校児童は増加傾向があります。）	(%)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>1.38</td></tr><tr><td>R04</td><td>1.38</td></tr><tr><td>R05</td><td>1.84</td></tr><tr><td>R06</td><td>2.65</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>1.38</td></tr></tbody></table>					年度	割合 (%)	基準	1.38	R04	1.38	R05	1.84	R06	2.65	R07	-	R08	1.38	(低下)
		年度	割合 (%)																		
基準	1.38																				
R04	1.38																				
R05	1.84																				
R06	2.65																				
R07	-																				
R08	1.38																				
値							対 前年度  (低下) 達成 状況 ■ (低)														

基本事業03 「豊かな心」を育む

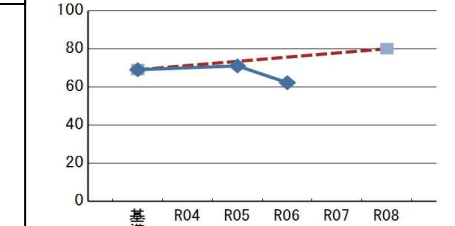
指標	不登校生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値															
	【子ども教育課】	%	4.32	7.93	8.14	4.32																
評価	< 状況 > 令和 6 年度の不登校生徒の割合は8.14%で、基準値と比較して3.82ポイント増加、前年度と比較して0.21ポイント増加しました。 < 原因 > 原因として、令和 6 年度本市中学校対象の調査では、無気力が44.3%と最も多く、次いで学業の不振が24.1%で続いています。（国や県でも不登校生徒は増加傾向があります。）	(%)  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4.32</td></tr><tr><td>R04</td><td>4.32</td></tr><tr><td>R05</td><td>7.93</td></tr><tr><td>R06</td><td>8.14</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>4.32</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	4.32	R04	4.32	R05	7.93	R06	8.14	R07	-	R08	4.32	(低下)	対 前年度
		項目	値																			
基準	4.32																					
R04	4.32																					
R05	7.93																					
R06	8.14																					
R07	-																					
R08	4.32																					
								(低下)	達成 状況													
								(低)														

基本事業03 「豊かな心」を育む

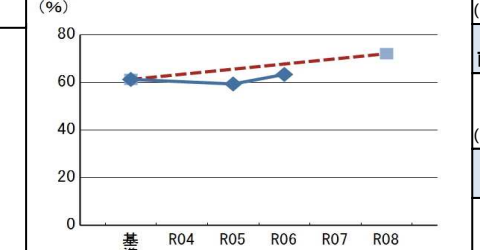
指標	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【子ども教育課】	%	92.3	94.3	94.7	97	
評価	< 状況 > 道徳性、規律性がある児童・生徒の割合は94.7%で、基準値と比較して2.4ポイント増加、前年度と比較して0.4ポイント増加しました。 < 原因 > 「人が困っている時進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の質問に肯定的な回答をした割合が微増しました。道徳科等でいじめ防止の意識啓発授業に継続して取り組んでいることが要因と考えます。						(向上)
							 (横ばい)
							達成 状況
							 (中)

□ 基本事業の成果状況と評価

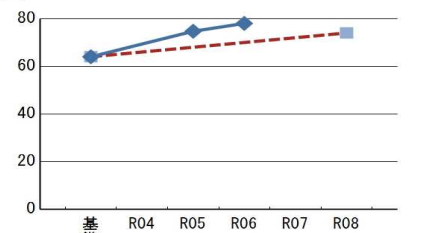
基本事業04 ICT教育の実践

指標	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	めざそう値(R08)	対基準値
		%	69	71	62.2	80	
評価	【子ども教育課】	(%)					(低下)
	<状況> 令和6年度のICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う児童(高学年)の割合は62.2%で、基準値と比較して6.8ポイント減少、前年度と比較して8.8ポイント減少しました。 <原因> 「活用されていると思う」児童の割合は減少しましたが、「もっといろいろ活用したいと思う」児童の割合は増加したことから、児童の更なる要望が増えたことが要因であると考えます。						対前年度
							
							(低下)
							達成状況
		(低)					

基本事業04 ICT教育の実践

指標	ICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	61.2	59.3	63.3	72	
	【子ども教育課】	(%) 					(横ばい)
評価	<状況> 令和6年度のICT機器端末(タブレット等)が授業で有効に活用されていると思う生徒の割合は63.3%で、基準値と比較して2.1ポイント増加、前年度と比較して4.0ポイント増加しました。 <原因> 中学校に電子黒板が整備されICT機器と電子黒板の連携が行われたことが、「十分活用している」と考える生徒が増加した要因と考えます。						対 前年度
							
							(横ばい)
							達成 状況
値							 (低)

基本事業04 ICT教育の実践

指標	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	64	74.7	78	74	
評価	【子ども教育課】	(%) 					(向上)
	< 状況 > 令和 6 年度の授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合は78.0%で、基準値と比較し14.0ポイント増加し、前年度と比較し3.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。						対 前年度
	< 原因 > 小中学校全校に電子黒板が整備され、ICT機器の活用の頻度が多くなったことが要因と考えられます。						 (向上)
							達成 状況
							 (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	学校施設の不具合による学校生活支障件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値	
		件	0	0	0	0		
評価	【施設整備課】	(件)						(向上)
	< 状況 > 令和 6 年度の学校施設の不具合による学校生活支障件数は 0 件で、 前年度と同様基準値を維持し、めざそう値を達成しました。						対 前年度	
	< 原因 > 専門家による点検や日常点検等を行ったことにより、危険箇所の把握 及び施設の状況把握をすることができ、緊急度に基づき迅速な修 繕工事等を行ったことが主な要因と考えられます。							
							(向上)	
							達成 状況	
値								
							(達成)	

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業05 教育環境の整備

指標	安全な給食を確実に提供できなかった件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【学校給食センター】	件	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の安全な給食を確実に提供できなかった件数は0件で、前年度と同様基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 成東学校給食センターでは、委託業者と綿密な打合せのもと代替給食を提供したこと、山武学校給食センターでは計画的な修繕や定期点検により施設を良好な状態に維持したことが給食の安定供給につながった要因です。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							達成状況
							☀️ (達成)

基本事業05 教育環境の整備

指標	複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【教育総務課】	校	1	0	0	0	☀️ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数は0校で、基準値と比較して1校減少しており、前年度の0校を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画（前期計画）に計画された4件（8校）の学校統合により、複式学級や単学級の解消が図られたことが主な要因と考えられます。						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							達成状況
							☀️ (達成)

基本事業06 地域と学校の協力体制の推進

指標	学校教育活動に協力した市民数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	人	153	137	141	153	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の学校教育活動に協力した市民数は141人で、基準値と比較して12人減少、前年度と比較して4人増加しました。 < 原因 > 令和5年度と比較して、部活動指導の活動人数が増加しています。バレーボール、卓球、ソフトテニス、バスケットボールの4種目で部活動指導への外部コーチ導入が要因と考えられます。						☀️ (横ばい)
							達成状況
							☔️ (低)

基本事業06 地域と学校の協力体制の推進

指標	学校支援活動に協力した市民数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【子ども教育課】	人	229	123	120	229	☔️ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の学校支援活動に協力した市民数は120人で、基準値と比較して109人減少、前年度と比較して3人減少しました。 < 原因 > 令和5年度と比較して、登下校時の見守り活動や環境整備等の人員構成に若干の変更はあったものの、ほぼ横ばいとなりました。基準値と比較した場合は、学校統合や児童数の減少、保護者による送迎が影響していると考えられます。						☔️ (横ばい)
							達成状況
							☔️ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・生涯学習の推進については、学習施設の環境整備や世代に沿った自主事業及び講座等のニーズを取り入れ、市民の学習意欲の向上を図ります。
- ・施設利用者の高齢化・固定化が進むなか、市民誰もが参加しやすい学習及び文化事業を推進します。また、各施設については、公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化等に対する適正配置や維持管理を行います。
- ・市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件及び市90件の指定文化財があり、これらを周知・活用した学習機会を増やし、郷土愛の醸成につなげます。
- ・芸術文化に対する市民の関心と活動への参加意欲を高めるとともに、郷土芸能活動をはじめ、伝統文化等の継承及び保存活動に取り組んでいきます。
- ・青少年の育成については、急速に進むグローバル化に対応するため、海外交流を通して多文化を学び理解することで、国際競争力を身につけ、広い視野を持つ人材の育成を行います。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）（％）	成果	28.7	24.2	☂ (低下)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市主催の生涯学習講座の年間参加者数（人）	成果	1,108	1,779	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
01	自主クラブ登録数（グループ）	成果	179	176	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	生涯学習施設の利用者数（人）	成果	218,185	222,453	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	この1年間に図書館を利用したことがある市民割合（％）	成果	6.5	6.2	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
02	公共施設維持管理費（生涯学習施設分）（万円）	成果	28,356	29,494	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	市民が認識している市内文化財数（全8項目）（項目）	成果	3.33	3.44	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数（人）	成果	4,324	4,477	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
04	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合（％）	成果	75.8	72.5	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
04	市主催の芸術文化事業への参加者数（人）	成果	4,379	4,745	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合（％）	成果	27.5	28.1	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	青少年育成事業 体験学習への児童・生徒参加者数（人）	成果	912	1,658	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 02 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 (主に学校教育を終了した市民)	・ 生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【生涯学習課】	%	26.9	28.7	24.2	33	☂ (低下)														
評価	< 状況 > 生涯学習に取り組んでいる市民の割合(全般的)は24.2%で、基準値と比較して2.7ポイント減少、前年度と比較して4.5ポイント減少しました。 < 原因 > 同じ人が生涯学習活動に取り組んでいる割合が多いことに加え、65歳以上のパート職や無職の市民が生涯学習に取り組んでいない割合が増えたことが原因と考えられます。			(%) <table><caption>生涯学習に取り組んでいる市民の割合 (%)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>26.9</td></tr><tr><td>R04</td><td>28.7</td></tr><tr><td>R05</td><td>28.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>24.2</td></tr><tr><td>R07</td><td>24.2</td></tr><tr><td>R08</td><td>33</td></tr></tbody></table>			項目	値 (%)	基準	26.9	R04	28.7	R05	28.7	R06	24.2	R07	24.2	R08	33	対 前年度
							項目	値 (%)													
基準	26.9																				
R04	28.7																				
R05	28.7																				
R06	24.2																				
R07	24.2																				
R08	33																				
							☂ (低下)														
							達成 状況														
							■■■ (低)														

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 主体的な学習の推進

基本事業 02 生涯学習施設の利用促進

基本事業 03 文化財の保護・活用

基本事業 04 芸術文化活動の充実

基本事業 05 青少年の育成

基本事業01 主体的な学習の推進

指標	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【公民館】	人	1,142	1,108	1,779	3,000	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市主催の生涯学習講座の年間参加者数は1,779人で、基準値と比較して637人増加、前年度と比較して671人増加しました。 < 原因 > 参加者数は、前年度と比較して約60%増加しています。定員数の多い講座を多く開催できたことで、参加者数が増加したと考えられます。						☀ (向上)
		(人)					☀ (向上)

基本事業01 主体的な学習の推進

指標	自主クラブ登録数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【公民館】	グループ	111	179	176	111	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の自主クラブ登録数は176グループで、基準値と比較して65グループ増加し、前年度と比較して3グループ減少しました。 < 原因 > 高齢の方が組織している団体が活動を継続できなくなったことが要因です。しかしながら、ダンススタジオで活動する団体は増加しています。						☀ (向上)
		(グループ)					☀ (向上)

基本事業02 生涯学習施設の利用促進

指標	生涯学習施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【文化会館】	人	121,277	218,185	222,453	122,000	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度の生涯学習施設の利用者数は、222,453人で基準値と比較して101,176人増加、前年度と比較して4,268人増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 団体構成員数の多い団体の活動が増加したことや、ダンスへの人気が増え、イベントへの来場者数も増加していることなどが要因と考えられます。						☀ (向上)
		(人)					☀ (向上)

基本事業02 生涯学習施設の利用促進

指標	この1年間に図書館を利用したことがある市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【図書館】	%	6.3	6.5	6.2	7.1	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度中に図書館を利用した事がある市民の割合は6.2%で、基準値と比較して0.1ポイント減少、前年度と比較して0.3ポイント減少しました。 < 原因 > 施設の改修工事等により、さんぶの森図書館(約1か月)、松尾図書館(約7か月)がそれぞれ臨時休館となったことが要因と考えられます。						☁ (横ばい)
		(%)					☁ (横ばい)

基本事業02 生涯学習施設の利用促進

基本事業⁰³ 文化財の保護・活用

基本事業⁰³ 文化財の保護・活用

基本事業04 芸術文化活動の充実

基本事業04 芸術文化活動の充実

基本事業04 芸術文化活動の充実

基本事業05 青少年の育成

106

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

- ・市ホームページを活用した各団体による活動内容のPRや、スポーツツーリズムと連動した市民参加型の魅力的なスポーツイベントの開催など、運動意欲を高める機会や環境づくりに取り組みます。
- ・専門的な知識や技術を有する指導者を育成し、スポーツ活動へ参加機会の充実を図り、参加者が減少傾向にあるスポーツ少年団等への加入を促進します。
- ・スポーツ施設の管理については、公共施設総合管理計画に基づき、施設の適正な管理を行い、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
スポーツ活動に親しむ市民の割合（％）	成果	25.5	27.1	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	スポーツ大会 教室へ参加した市民の割合（％）	成果	7.1	6.6	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	スポーツ大会 教室の機会の充足度（％）	成果	76.2	72.7	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）(団体)	成果	48	49	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	体育関係団体の指導者数（人）	成果	89	88	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	体育施設の利用者数（人）	成果	120,787	125,696	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	公共施設維持管理費（社会体育施設分）(万円)	成果	8,742	8,257	☁ (横ばい)	---	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 03 スポーツの振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値												
	【スポーツ振興課】	%	28	25.5	27.1	32.4	☂ (低下)												
評価	< 状況 > 令和 6 年度のスポーツ活動に親しむ市民の割合は27.1%で、基準値と比較して0.9ポイント減少、前年度と比較して1.6ポイント増加しました。 < 原因 > 週 2 回30分以上の運動をしている人の比率では、昨年度と比較し20代を除くすべての年齢層で増えていることから、運動習慣を持つ市民が増えていることが要因だと考えられます。			(%) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>28</td></tr><tr><td>R04</td><td>28.5</td></tr><tr><td>R05</td><td>25.5</td></tr><tr><td>R06</td><td>27.1</td></tr><tr><td>R08</td><td>32.4</td></tr></tbody></table>			項目	値	基準	28	R04	28.5	R05	25.5	R06	27.1	R08	32.4	対 前年度
							項目	値											
基準	28																		
R04	28.5																		
R05	25.5																		
R06	27.1																		
R08	32.4																		
							☀ (横ばい)												
							達成 状況												
							■■■ (低)												

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ活動の充実

基本事業 02 体育関係団体・指導者の育成

基本事業 03 体育施設の利用促進

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	%	5.4	7.1	6.6	10.1	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のスポーツ大会・教室へ参加した市民の割合は6.6%で、基準値と比較して1.2ポイント増加し、前年度と比較し0.5ポイント減少しました。 < 原因 > 市主催のスポーツ大会が少ないことに加え、会社員・公務員の方のスポーツ大会や教室に参加した比率が昨年度と比較し0.6ポイント減少していることから仕事や育児によりスポーツに時間を割くことが出来ないことが要因として考えられます。	(%)					☀ (横ばい)
		(%)					☀ (横ばい)

基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室の機会の充足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	%	66.8	76.2	72.7	69	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のスポーツ大会・教室の機会の充足度は72.7%で、基準値と比較して5.9ポイント増加、前年度と比較して3.5ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 「普通」以上の回答をした比率では、昨年度と比較し65歳から69歳が2.6ポイント、70歳以上が3.7ポイント増えていることから「グラウンドゴルフ」、「パークゴルフ」などの高齢者の方を満足させるスポーツ大会や教室が多いことが要因として考えられます。	(%)					☀ (向上)
		(%)					☀ (向上)

基本事業02 体育関係団体・指導者の育成

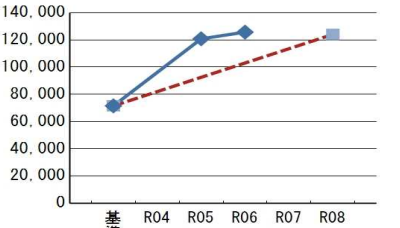
指標	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	団体	48	48	49	50	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のスポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）は49団体で、基準値と比較して1団体増加、前年度と比較して1団体増加しました。 < 原因 > 少年スポーツクラブ連合会加盟団体が1団体増加したことによるものです。	(団体)					☀ (向上)
		(団体)					☀ (向上)

基本事業02 体育関係団体・指導者の育成

指標	体育関係団体の指導者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【スポーツ振興課】	人	76	89	88	135	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の体育関係団体の指導者数は88人で、基準値と比較して12人の増加、前年度と比較して1人の減少です。 < 原因 > 昨年度と比較し、少年スポーツクラブ連合会の指導者が2人増え、スポーツ推進委員が3人減っていることが体育関係団体の指導者数が微減の要因です。	(人)					☀ (横ばい)
		(人)					☀ (横ばい)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	体育施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
	【スポーツ振興課】	人	71,523	120,787	125,696	124,000	☀ (向上)														
評価	< 状況 > 令和 6 年度の体育施設の利用者数は125,696人で、基準値と比較して、54,173人増加、前年度と比較して4,909人増加しめざそう値を達成しました。	(人)  <table border="1"><caption>体育施設の利用者数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>利用者数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>71,523</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>120,787</td></tr><tr><td>R06</td><td>125,696</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>124,000</td></tr></tbody></table>					年度	利用者数 (人)	基準	71,523	R04	-	R05	120,787	R06	125,696	R07	-	R08	124,000	☀ (向上)
	年度						利用者数 (人)														
基準	71,523																				
R04	-																				
R05	120,787																				
R06	125,696																				
R07	-																				
R08	124,000																				
	< 原因 > 成東総合運動公園テニスコート人工芝張替工事を令和 5 年度に実施したため、テニスコートの利用が出来ない期間がありましたが、令和 6 年度は通年で利用出来たことが前年度と比較して利用者数が増加した要因として考えられます。						☀ (向上)														
							達成 状況 (達成)														

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	公共施設維持管理費（社会体育施設分）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値															
		万円	6,342	8,742	8,257	12,279																
		(万円)						(横ばい)														
評価	< 状況 > 令和 6 年度の公共施設施設維持管理費（社会体育施設分）は8,257 万円で、基準値と比較して、1,915万円増加しましたが、めざそう 値を達成しました。	<table><caption>公共施設維持管理費（社会体育施設分） (万円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>維持管理費 (万円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>6,342</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>8,742</td></tr><tr><td>R06</td><td>8,257</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>12,279</td></tr></tbody></table>						年度	維持管理費 (万円)	基準	6,342	R04	-	R05	8,742	R06	8,257	R07	-	R08	12,279	対 前年度
	年度							維持管理費 (万円)														
	基準							6,342														
	R04							-														
R05	8,742																					
R06	8,257																					
R07	-																					
R08	12,279																					
< 原因 > 施設の修繕箇所数の減少が、維持管理費が減少した要因であると考え えます。	---																					
	達成 状況																					
		(達成)																				

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・「人権が尊重されているまちだ」と思う市民の割合」は、令和元年度に10ポイント以上向上したものの、その後は横ばいです。
- ・LGBT、外国人または感染症に関する人権等、配慮すべき多様な人権ニーズが生じています。これらの多様な人権ニーズへの期待に応えられるよう人権教育及び啓発活動を推進します。
- ・市民が抱える様々な人権問題に、解決の糸口を見いだせるよう人権相談窓口を開設します。
- ・「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合」は前総合計画期間においても低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。令和5年度に策定し、令和6年度に計画期間が開始した「第4次山武市男女共同参画計画」に沿って、効果的に施策を推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合（％）	成果	56	59.4	☀ (向上)	☀ (向上)	○
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合（％）	成果	17.6	21.4	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合（％）	成果	25	26.5	☀ (向上)	☀ (向上)	○
01	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合（％）	成果	7.5	9.4	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○
02	人権侵害に対する措置件数（件）	代替	1,449	1,311	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
03	審議会などに女性委員が登用されている割合（％）	成果	27.2	28.4	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
03	男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合（％）	成果	84.5	81.8	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	男性が家事・育児に積極的に参加している割合（％）	成果	38	37.2	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 04 人権尊重のまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。 ・ あらゆる分野で男女が対等に参画している社会になっています。

施策の成果状況と評価

指標	人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	56.6	56	59.4	56.6	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合は59.4%で、基準値と比較して2.8ポイント、前年度と比較して3.4ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 人権擁護委員による小学校での人権教室の実施や啓発活動を継続的にやってきたことにより、人権への意識が高まっていることが要因と考えます。						対前年度 ☀ (向上)
							達成状況 🏰 (達成)
指標	あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	19.5	17.6	21.4	25	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度のあらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合は21.4%であり、基準値と比較して1.9ポイント増加、前年度と比較して3.8ポイント増加しました。 < 原因 > アンケートの結果から、性別では女性、年齢別では30歳代から50歳代、職業別ではパートタイマー、アルバイト及び家事専業の方が低い傾向となっており、依然として男女で職業の差があることが要因であると考えられます。						対前年度 ☀ (向上)
							達成状況 ■ (低)

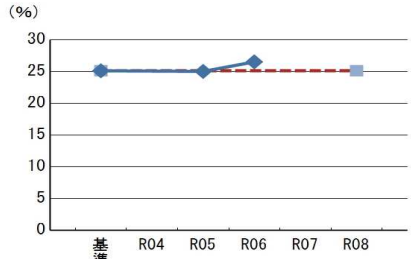
□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 人権教育・人権啓発の推進

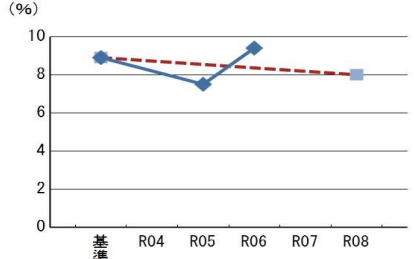
基本事業 02 人権擁護の推進

基本事業 03 男女共同参画の推進

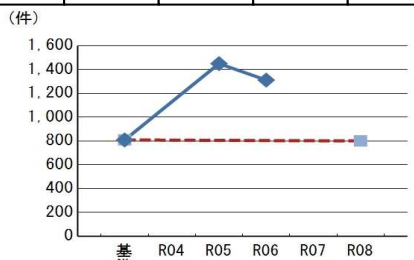
基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	25.1	25	26.5	25.1	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のこの1年間に人権について学んだことのある市民の割合は26.5%で、基準値と比較して1.4ポイント、前年度と比較して1.5ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 昨今、人権を傷つけるような事件に関連する報道が増加したことや、市が主催する人権教室の取り組みなどが人権についての意識が向上した要因であると考えます。						☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成状況)
							☀ (達成)

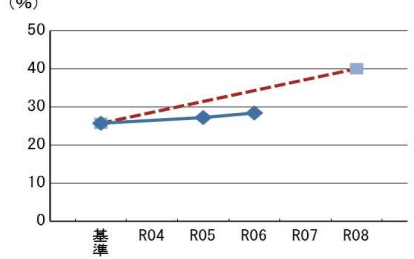
基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	8.9	7.5	9.4	8	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度のこの1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合は9.4%で、基準値と比較して0.5ポイント、前年度と比較して1.9ポイント増加しました。 < 原因 > アンケート結果から、10歳代において人権を侵害する言動や行動をしたと認識する者の割合が増加したことが要因と考えます。						☁ (横ばい)
							☁ (横ばい)
							☁ (低下)
							☁ (達成状況)
							☁ (低)

基本事業02 人権擁護の推進

指標	人権侵害に対する措置件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民自治支援課】	件	808	1,449	1,311	800	☔ (低下)
評価	< 状況 > 令和6年度の人権侵害に対する措置件数は1,311件で、基準値と比較して503件増加、前年度と比較して138件減少しました。 < 原因 > 人権について学ぶ機会が増えてきていることにより、いじめ認知件数が減少したことが要因です。						☔ (低下)
							☔ (横ばい)
							☔ (達成状況)
							☔ (低)

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	審議会などに女性委員が登用されている割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	25.7	27.2	28.4	40	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の審議会などに女性委員が登用されている割合は28.4%であり、基準値と比較して2.7ポイント増加、前年度と比較して1.2ポイント増加しました。 < 原因 > 審議会などの女性委員の登用数は、全体として8名増加したことが要因です。						☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (達成状況)
							☀ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	81.8	84.5	81.8	87	
評価	< 状況 > 令和6年度の「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合は81.8%であり、基準値と同数値、前年度と比較して2.7ポイント減少しました。 < 原因 > アンケート結果では、70歳以上が75.0%と低い状況ですが、10代から30代の若い世代は高くなっています。家庭内での意思疎通や職場等の社会的環境が整いつつあることにより、女性の社会的な参画が推進されたことが、要因と考えられます。						(横ばい)
							対 前年度
							
							(横ばい)
							達成 状況
							
							(低)

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	男性が家事・育児に積極的に参加している割合 【企画政策課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	37.4	38	37.2	45	
評価	< 状況 > 令和6年度の男性が家事・育児に積極的に参加している割合は37.2%であり、基準値と比較して0.2ポイント減少、前年度と比較して0.8ポイント減少しました。 < 原因 > パパママサロンや子育て講座等へ男性の参加を促していますが、大きな意識改革には繋がっていないことが要因であると考えられます。						(横ばい)
							対 前年度
							
							(横ばい)
							達成 状況
							
							(低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

・少子高齢化や人口減少が進む中で、多様化・複雑化する社会情勢に対応したまちづくりを推進していくには、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が不可欠です。地域まちづくり協議会等を通じて各種団体等が交流・連携し、一体となって自らが課題解決に取り組むまちづくりを図ります。

・「市民活動（地域活動）等に参加している市民の割合」は、微減しています。市民が身近な地域活動を知り、市民活動団体が相互連携を深める機会を増やすなど、まちづくりに参加しやすい環境整備を進めます。

・「区・自治会加入率」は低下傾向であり、活動継続に必要な支援を行います。

・市内在住外国人と地域の人々が、共に理解し、対等な関係を築き、共に暮らしていけるまちづくりを推進していきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市民活動（地域活動）に参加している市民の割合（％）	成果	30.2	32.1	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
NPO・ボランティア活動をしている市民の割合（％）	成果	9.4	12.2	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	区・自治会加入率（％）	成果	66.95	66.66	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
01	区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合（％）	成果	52.7	58.2	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	市民活動に意欲的な市民割合（％）	成果	33.5	36.7	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数（人）	成果	1,666	1,540	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数（回）	成果	5	10	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数（件）	成果	8	9	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

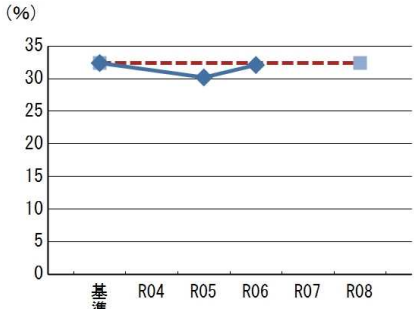
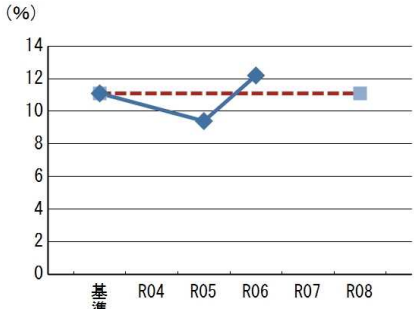
政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 01 協働と交流によるまちづくり

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・NPO法人 ・市民活動団体 ・職員	・まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。

施策の成果状況と評価

指標	市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	32.4	30.2	32.1	32.4	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は32.1%で、基準値と比較して0.3ポイント減少、前年度と比較して1.9ポイント増加しました。 < 原因 > アンケート結果によると、10歳代から30歳代の若い世代は低く、70歳代以上の割合が高い状況にあり、高齢者における地域活動への参加意識が高いことが要因と考えられます。	 (%)					対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■■■ (低)
指標	NPO・ボランティア活動をしている市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	11.1	9.4	12.2	11.1	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和6年度のNPO・ボランティア活動をしている市民割合は12.2%で、基準値と比較して1.1ポイント増加、前年度と比較して2.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 感染症対策の影響で縮小していた各種団体等の市民活動（地域活動）が徐々に展開されていることが要因と考えられます。	 (%)					対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)

基本事業	01	区・自治会活動の活性化
基本事業	02	市民活動の活性化
基本事業	03	協働のまちづくり推進の仕組みづくり
基本事業	04	多文化共生社会の推進

指標	区・自治会加入率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	69.99	66.95	66.66	70	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の区・自治会加入率は66.66%で、基準値と比較して3.3 3ポイント、前年度と比較して0.29ポイント減少しました。 < 原因 > 市民のライフスタイルの多様化等により、区・自治会の活動に負担 を感じ、新規加入者が増えないことが要因と考えられます。	 (横ばい)					対 前年度 (横ばい)
							達成 状況 (低)

指標	区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基 準 値
	【市民自治支援課】	%	55.9	52.7	58.2	55	 (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の区・自治会活動が重要・必要と思う市民割合は58.2%で、基準値と比較して2.3ポイント、前年度と比較して5.5ポイント増加しました。 < 原因 > 自治会で組織している自主防災組織の数も増加傾向にあり、災害時等における日頃からの地域住民の協力の必要性を感じている市民が増していることが主な要因と考えられます。						 (向上)
							 (向上)
							 達成 状況
							 (達成)

指標	市民活動に意欲的な市民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
		%	38.9	33.5	36.7	39	
評価	【市民自治支援課】 < 状況 > 令和 6 年度の市民活動に意欲的な市民割合は36.7%で、基準値と比較して2.2ポイント減少、前年度と比較して3.2ポイント増加しました。 < 原因 > 市民活動フェスタがさんぶの森公園で規模を大きくして開催されたことなど、市民活動団体の活動やイベントに参加できる機会が増加していることが要因と考えられます。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 達成状況 ■■■ (低)

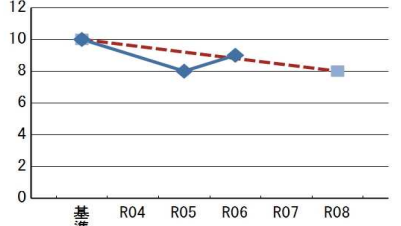
指標	市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値															
	【市民自治支援課】	人	1,409	1,666	1,540	1,600																
評価	< 状況 > 令和6年度の市内に登録のあるNPO・ボランティア団体の会員数は1,540人で、基準値と比較して131人増加、前年度と比較して126人減少しました。 < 原因 > 登録団体数が前年度より3団体減少したことや、団体に加入していた会員の減少が要因です。	(人) <table border="1"> <caption>会員数推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> <th>めざそう値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R04</td> <td>1,409</td> <td>1,409</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>1,666</td> <td>1,450</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>1,540</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>R08</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	めざそう値 (人)	R04	1,409	1,409	R05	1,666	1,450	R06	1,540	1,500	R08	1,600	1,600	(横ばい) 対 前年度 (横ばい) 達成 状況 (中)
	年度	実績値 (人)	めざそう値 (人)																			
R04	1,409	1,409																				
R05	1,666	1,450																				
R06	1,540	1,500																				
R08	1,600	1,600																				

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 協働のまちづくり推進の仕組みづくり

指標	市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催回数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値						
	【市民自治支援課】	回	-	5	10	25 (年5回)	☀ (横ばい)						
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市民協働のまちづくりのあり方・ルールを検討する会議の開催数は10回で、前年度と比較し 5 件増加しました。	(回) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>開催回数 (回)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R05</td><td>5</td></tr><tr><td>R06</td><td>10</td></tr></tbody></table>					年度	開催回数 (回)	R05	5	R06	10	対 前年度
	年度						開催回数 (回)						
R05	5												
R06	10												
	< 原因 > 市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会 3 回、市民活動フェスタ実行委員会 1 回、登録市民活動団体等を対象とした協働と交流によるまちづくりセミナーで 1 回、会議を実施したことが要因です。						☀ (横ばい)						
価							達成 状況						
							■■■ (低)						

基本事業04 多文化共生社会の推進

指標	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【市民自治支援課】	件	10	8	9	8	
評価	< 状況 > 令和 6 年度の多文化共生社会への行政・市民活動団体の取組数は 9 件で、基準値と比較して 1 件減少、前年度と比較して 1 件増加し、めざそう値を達成しました。	(件) 					(横ばい)
	< 原因 > 多文化共生に係る国際交流の事業で、前年度休止となっていた海外研修生受入事業が実施されたことが要因です。						対 前年度
値							
							(横ばい)
							達成 状況
							
							(達成)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・株式会社ブランド総合研究所の地域ブランド調査によると、山武市の認知度は1,000市区町村中950位（2024年度現在）となっています。首都圏に位置し、成田国際空港に近接している立地メリットや、市の魅力を積極的に発信することで、山武市への関心を喚起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加を推進していきます。
- ・広報紙や議会だよりの創意工夫に加え、新聞離れやインターネットメディアの普及等から、SNSを活用しながら、市政情報の伝達手段の多様化に取り組みます。
- ・「市長への手紙」等の制度により、市政に対する市民からの意見や提言を市政に反映させ、市民参加でのまちづくりを進めます。
- ・ICTを活用した議会中継配信の周知等を通じ、議会への関心を高めていきます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市政情報の提供の満足度 (%)	成果	84.5	88.3	☀ (横ばい)	☀ (向上)	○
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 (%)	成果	62.4	64.2	☀ (向上)	☀ (横ばい)	○
この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えたことがある市民の割合 (%)	成果	23.3	27.3	☀ (向上)	☀ (向上)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	成果	86.8	87	☂ (低下)	☀ (横ばい)	○
01	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	成果	86.2	88.3	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
01	ホームページ等のITを活用した市からの情報提供に満足している市民割合 (%)	成果	92.1	91.9	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	
02	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	成果	26.1	25.4	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	SNS等による市からの情報発信件数 (件)	成果	43,667	31,051	☂ (低下)	☂ (低下)	○
03	市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数 (人)	成果	5,181	10,042	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	成果	40.8	42.7	☁ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
04	市議会を傍聴した人数 (議会インターネット中継アクセス件数含む) (件)	成果	2,535	1,956	☁ (横ばい)	☂ (低下)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・市民 ・行政 ・国民 ・職員	・市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。 ・市民一人ひとりが愛着を持ち、市の魅力を伝えています。

施策の成果状況と評価

指標	市政情報の提供の満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【秘書広報課】	%	85.5	84.5	88.3	90	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市政情報の提供の満足度は88.3%で、基準値より2.8 ポイント増加、前年度と比較して3.8ポイント増加しました。 < 原因 > 情報発信の即時性と拡散性が高いLINE等のSNSの利用者が増加傾向 にあります。適切なタイミングで必要な情報を受け取っている市民 が増えたことが要因の一つとして考えられます。						対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 ■ (中)

指標	多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う 市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【秘書広報課】	%	60	62.4	64.2	65	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思 う市民の割合は64.2%で、基準値と比較して4.2ポイント増加、前 年度と比較して1.8ポイント増加しました。 < 原因 > 市ホームページでの掲載に加え広報紙にも「市長への手紙」受付件 数及び実際の対応事例等を掲載したことにより、多くの市民への周 知が図られたことが要因と考えられます。						対 前年度 ☀ (横ばい) 達成 状況 ■ (高)

指標	この1年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝えた ことがある市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【秘書広報課】	%	17.6	23.3	27.3	25	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和 6 年度のこの 1 年間に友人・知人に山武市の特徴や良い点を伝 えたことがある市民の割合は27.3%であり、基準値より9.7ポイン ト増加、前年度と比較して4.0ポイント増加し、めざそう値を達成 しました。 < 原因 > 各スポーツ界で活躍する市出身選手を紹介する「地域のヒーロー 展」の開催など地域の魅力を再認識できるイベントの開催や、広報 紙および市公式LINE等のSNSを活用し、市の魅力の発信に努めたこ とが要因として考えられます。						対 前年度 ☀ (向上) 達成 状況 🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

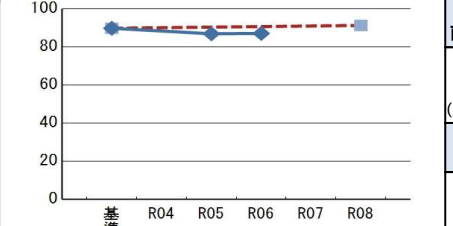
基本事業 01 広報の充実

基本事業 02 広聴の充実

基本事業 03 市の魅力発信の強化

基本事業 04 議会情報の公開の推進

基本事業01 広報の充実

指標	広報紙を読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【秘書広報課】	%	89.7	86.8	87	91.2	
評価	< 状況 > 令和6年度の広報紙を読んでいる市民の割合は87.0%で、基準値と比較して2.7ポイント減少、前年度と比較して0.2ポイント増加しました。 < 原因 > 子育て世代をターゲットにした特集記事の掲載に取り組んだ結果、30歳代の読者が前年度と比較し増加したことなどが要因として考えられます。	(%) 					(低下)
							対 前年度
							
							(横ばい)
値							達成 状況
							
							(低)

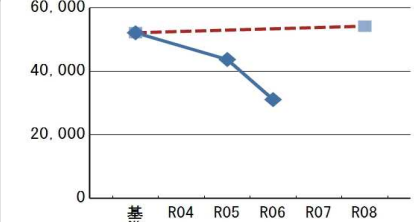
基本事業01 広報の充実

指標	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値														
		%	87.4	86.2	88.3	90															
評価		(%)					(横ばい)														
	< 状況 > 令和6年度の広報紙が分かりやすいと思う市民の割合は88.3%で、基準値より0.9ポイント増加、前年度と比較して2.1ポイント増加しました。 < 原因 > レイアウト等編集時に、わかりやすさや読みやすさに留意したことが要因として考えられます。	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>R04</th><th>R05</th><th>R06</th><th>R07</th><th>R08</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>87.4</td><td>-</td><td>86.2</td><td>88.3</td><td>-</td><td>90.0</td></tr></tbody></table>					項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08	実績値	87.4	-	86.2	88.3	-	90.0	対 前年度
		項目	基準	R04	R05	R06	R07	R08													
		実績値	87.4	-	86.2	88.3	-	90.0													
						(横ばい)															
						達成 状況															
							(低)														

基本事業02 広聴の充実

指標	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値															
	【秘書広報課】	%	26.2	26.1	25.4	33																
評価	< 状況 > 令和6年度の市民の声が市政に届いていると思う市民の割合は25.4%で、基準値と比較して0.8ポイント減少、前年度と比較して0.7ポイント減少しました。 < 原因 > 「市長への手紙」等で頂いた意見等については、庁内で検討の上、対応結果の公表をしています。しかし、中には実現困難な要望等もあるため、自らの声が市政に届いていると感じられないように受けとる方がいることが原因と考えます。	(%) <table border="1"><caption>市民の声が市政に届いていると思う市民の割合の推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>26.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>26.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>26.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>25.4</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>33.0</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	26.2	R04	26.1	R05	26.1	R06	25.4	R07	-	R08	33.0	(横ばい)	対 前年度
		項目	値																			
		基準	26.2																			
		R04	26.1																			
R05	26.1																					
R06	25.4																					
R07	-																					
R08	33.0																					
					(横ばい)																	
						達成 状況																
						(低)																

基本事業03 市の魅力発信の強化

指標	SNS等による市からの情報発信件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【秘書広報課】	件	52,092	43,667	31,051	54,172	傘
評価	< 状況 > 令和 6 年度のSNS等による市からの情報発信件数は31,051件で、基準値より21,041件減少、前年度と比較し12,616件減少しました。 < 原因 > YouTubeを通じた動画コンテンツの新規投稿数が減少し、新たな話題性を提供できなかったことや、世間一般的に短尺動画（Instagram など）へ視聴者の関心が移り、従来型の長尺コンテンツの需要が相対的に減少傾向にあることが要因として考えられます。	(件)					(低下)
							対 前年度
							傘
							(低下)
値							達成 状況
							■ ■ ■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業03 市の魅力発信の強化

指標	市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		人	2,128	5,181	10,042	5,230	☀ (向上)
評価	【秘書広報課】 ＜状況＞ 令和6年度の市の魅力に賛同している支援者・フォロワー数は10,042人で、基準値より7,914人増加、前年度比較して4,861人増加し、めざそう値を達成しました。 ＜原因＞ ふるさと納税の件数が増加しています。地域の特産品や工芸品など特色ある返礼品の提供により市に対する関心が高まったことが要因として考えられます。						☀ (向上)
		(人) 対前年度 ☀ (向上) 達成状況 ☀ (達成)					☀ (達成)

基本事業04 議会情報の公開の推進

指標	議会だよりを読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	42.8	40.8	42.7	47	☁ (横ばい)
評価	【議会事務局】 ＜状況＞ 令和6年度の議会だよりを読んでいる市民の割合は42.7%で、基準値と比較して0.1ポイント減少、前年度と比較して1.9ポイント増加しました。 ＜原因＞ 議会だよりを読んでいる市民の職業別の割合では、家事専業と無職の割合が高く、年齢別では30歳代の割合が昨年度より約10%増加していることから、子育て世代の市民が教育行政や産前産後の支援等の一般質問記事に関心を寄せていることが要因として考えられます。						☀ (横ばい)
		(%) 対前年度 ☀ (横ばい) 達成状況 ☁ (低)					☁ (低)

基本事業04 議会情報の公開の推進

指標	市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	2,076	2,535	1,956	2,300	☁ (横ばい)
評価	【議会事務局】 ＜状況＞ 令和6年度の市議会を傍聴した人数（議会インターネット中継アクセス件数含む）は1,956件で、基準値と比較して120件減少、前年度と比較して579件減少しました。 ＜原因＞ 小松地先市有地土砂搬入事案がテレビ、新聞報道等に取り上げられたことで令和5年度に市議会を傍聴した人数が急増した反動により減少したものと考えられます。また、議会中継配信の周知不足も減少の要因と考えられます。						☁ (横ばい)
		(件) 対前年度 ☁ (低下) 達成状況 ☁ (低)					☁ (低)

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の 環境変化と 課題

- ・市民の行政に対するニーズは多様化・複雑化しています。市では行政評価の仕組みにより、定量的に施策の成果を確認しながら、事業・事務の見直しを行い、変化する市民ニーズに対応していきます。
- ・歳入の約3割を占める地方交付税は、市町村合併による特例加算の終了や人口の減少により減額が見込まれます。減少する歳入と歳出の調整を行い、計画的な財政運営に取り組んでいきます。
- ・市では公共施設等総合管理計画などの計画を策定し、市が保有する公共施設・インフラ資産の更新や改修などを計画的に行うとともに、市の人口・財政規模に見合った公共施設の整備を推進します。
- ・少子高齢化の進行に対応するため、単なる新技術の導入ではない、地域社会全体のデジタル変革が求められています。市の状況に合ったデジタル技術の導入によって、市民の利便性・満足度の向上、行政運営の効率化を推進します。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
施策の目標達成率 (%)	成果	14.6		---	---	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	基本事業の目標達成率 (%)	成果	28.3		---	---	○
01	PDCAサイクルを意識している職員の割合 (%)	成果	54.4	59.7	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
02	年次休暇取得日数が10日以上の方の割合 (%)	成果	65.7	65	☀ (向上)	☁ (横ばい)	○
02	職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合 (%)	成果	75.7	81.8	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合 (%)	成果	76.1	72.5	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
03	経常収支比率 (%)	成果	94.8	93.6	☔ (低下)	☀ (向上)	○
03	実質公債費比率 (%)	成果	6.1		---	---	○
03	経常経費に占める一般財源の割合 (%)	成果	75.6	73.6	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	市税収納率 (%)	成果	98.09	98.2	☀ (横ばい)	☀ (横ばい)	○
05	市保有の土地活用率 (%)	成果	51.9	50	☀ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
05	公共施設維持管理費 (万円)	成果	175,614		---	---	○
06	市のITサービスを利用している市民の割合 (%)	成果	46.5	45.3	☁ (横ばい)	☁ (横ばい)	○
06	ITを活用した行政サービス 行政事務の改善件数及び新規導入件数 (計画期間累計) (件)	成果	11	32	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 03 計画的・効率的な行財政運営

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・行政 ・市民	・計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われ、まちづくりが推進しています。

施策の成果状況と評価

指標	施策の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	42.5	14.6		60	---
評価	指標値は、前指標集計後、9月中旬に取得します。		(%) 				対前年度

							達成状況

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	行政経営の推進
基本事業	02	人材育成と効率的な組織運営
基本事業	03	健全な財政運営
基本事業	04	税収の確保
基本事業	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
基本事業	06	自治体DXの推進と市民サービスの向上

基本事業01 行政経営の推進

指標	基本事業の目標達成率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	39.6	28.3		70	
評価	指標値は、全指標集計後、9月中旬に取得します。						対前年度
							達成状況

基本事業01 行政経営の推進

指標	PDCAサイクルを意識している職員の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【企画政策課】	%	55.5	54.4	59.7	66.7	☀️
評価	< 状況 > PDCAサイクルを意識している職員の割合は59.7%で、基準値と比較して4.2ポイント増加、前年度と比較して5.3ポイント増加しました。 < 原因 > 行政評価の進め方研修会や点検会の実施などにより、行政評価制度が職員に浸透してきたことが原因と思われます。						対前年度
							達成状況

基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	年次休暇取得日数が10日以上職員の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	%	54.2	65.7	65	59	☀️
評価	< 状況 > 年次休暇取得日数が10日以上職員の割合は65.0%で、基準値と比較し10.8ポイント増加、前年度と比較し0.7ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 昨年度より、夏季休暇の取得期間が6月から10月へと拡大されたことにより、取得の利便性が向上し、夏季休暇の取得率は上昇いたしました。一方で、これに伴い年次有給休暇の取得時間が減少する傾向が見られ、その影響が主な要因であると考えられます。						対前年度
							達成状況

基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	%	74.6	75.7	81.8	79	☀️
評価	< 状況 > 職員が各職位に求められる職責を果たしていると思う職員の割合は81.8%で、基準値より7.2ポイント増加、前年度より6.1ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 業務の複雑化・多様化が進む中で、職員一人ひとりに求められる能力や業務量は増加しておりますが、コンプライアンス研修等を通じて職務や職責への意識が高まり、自らの役割を的確に果たそうとする職員が増加していることが、その要因であると考えられます。						対前年度
							達成状況

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	%	69.1	76.1	72.5	74	☀️
評価	< 状況 > 部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合は72.5%で、基準値と比較して3.4ポイント増加、前年度と比較して3.6ポイント減少しました。 < 原因 > 新型コロナウイルス感染症の5類移行により従来の日常が戻る中で、会議の対面実施や定期的な実施により意思疎通が図られ、また、イベント開催など協力し合う機会が増えたことで組織内の連携が高い水準で維持していると考えます。						(横ばい)
							対前年度
							(横ばい)
							達成状況
							■ (中)

基本事業03 健全な財政運営

指標	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	89.4	94.8	93.6	95	☔️
評価	< 状況 > 令和6年度の経常収支比率は93.6%で、前年度と比較して1.2%ポイント減少、基準値と比較して4.2%ポイント増加したものの、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 給与改定や病院建替えにより経常的支出は増加したものの、退職手当にかかる組合負担金の大幅な減額により人件費の増加を抑えられたこと、物価高や給与改定の影響により地方交付税などの経常的収入が増加となったことが要因です。						(低下)
							対前年度
							☀️ (向上)
							達成状況
							🏰 (達成)

基本事業03 健全な財政運営

指標	実質公債費比率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	6.6	6.1		10	---
評価	指標値は、決算統計後、7月下旬に算出します。						対前年度

							達成状況

基本事業03 健全な財政運営

指標	経常経費に占める一般財源の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	78.5	75.6	73.6	77	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の経常経費に占める一般財源の割合は73.6%で、前年度と比較して2.0%ポイント減少、基準値と比較して4.9%ポイント減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 経常経費が公債費や補助費等などの増加により、約9億1千万円の増加となりましたが、特定財源が約6億円の増加となり、財源を確保できたことが要因です。						(向上)
							対前年度
							☀️ (向上)
							達成状況
							🏰 (達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 税収の確保

指標	市税収納率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【収税課】	%	98.05	98.09	98.2	98.8	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 市税収納率は98.20%で、基準値と比較し0.15ポイント増加、前年度と比較して0.11ポイント増加しました。 < 原因 > 自主的な納付を推進するため、コンビニ納付その他多様な納付方法を整備する中、2次元バーコードによるキャッシュレス納付について、令和6年度から市県民税及び国民健康保険税が対象となり、納付方法が更に拡大しました。また、滞納処分を徹底し、差押件数が増加したことも要因のひとつと考えられます。						(横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)

基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	市保有の土地活用率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	%	49.1	51.9	50	50	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市保有の土地活用率は50.0%で、基準値と比較して0.9ポイント増加、前年度と比較して、1.9ポイント減少しましたが、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 用途廃止による普通財産の増加やイベント等への一時的な貸付けの減少により、前年度と比較すると土地活用率は低下しましたが、長期的な貸付け等による土地の活用は増加しており、土地活用の全体的な傾向は、堅調に推移していると考えられます。						(横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)

基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	公共施設維持管理費	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【財政課】	万円	165,221	175,614		165,221	---
評価	指標値は、決算統計後、7月中旬に取得します。						---

基本事業06 自治体DXの推進と市民サービスの向上

指標	市のICTサービスを利用している市民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【秘書広報課】	%	46.5	46.5	45.3	50.5	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和6年度の市のICTサービスを利用している市民の割合は45.3%で、基準値と比較し1.2ポイント減少、前年度と比較して1.2ポイント減少しました。 < 原因 > 行政のICTサービス化は進んでいますが、オンラインで処理できる個別具体的な申請手続等について、周知や案内等が足りていないことが原因と考えられます。						(横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)
							☀ (横ばい)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業06 自治体D Xの推進と市民サービスの向上

指標	ICTを活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数（計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値																					
		件	0	11	32	40	☀ (向上)																					
評価	【企画政策課】 ＜状況＞ 令和6年度のICTを活用した行政サービス・行政事務の改善件数及び新規導入件数は32件で、基準値と比較し32件増加、前年度と比較して21件増加しました。 ＜原因＞ イベントの申込の電子化を4件、「書かない窓口」「行かない窓口」の導入による行政手続きの電子化などICTを活用した行政事務の改善を17件実施したことが要因です。	(件) <table><caption>実績値とめざそう値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th><th>めざそう値 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>R04</td><td>11</td><td>11</td></tr><tr><td>R05</td><td>32</td><td>22</td></tr><tr><td>R06</td><td>40</td><td>33</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td><td>37</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>40</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (件)	めざそう値 (件)	基準	0	0	R04	11	11	R05	32	22	R06	40	33	R07	-	37	R08	-	40	☀ (向上)
							年度	実績値 (件)	めざそう値 (件)																			
基準	0	0																										
R04	11	11																										
R05	32	22																										
R06	40	33																										
R07	-	37																										
R08	-	40																										
							☀ (向上)																					
							達成 状況																					
							■■ (高)																					

施策を取り巻く環境変化と課題

施策の
環境変化と
課題

・地方自治体の業務が多様化・高度化する一方、正確な事務執行と会計処理を求められており、デジタル技術の活用などにより、人的ミスの発生を防止するなど、職員の誰もが公正で確実な行政サービスを提供できるように取り組みます。

・個人情報の保護については、個人情報保護法の改正により、令和5年4月1日から個人情報が官民ともに一元管理されることとなったため、職員への注意喚起等を行い、個人情報の漏洩事案が発生しないように取り組みます。

施策・基本事業成果指標の一覧

施策の成果指標

成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件）	成果	0	5	☂ (低下)	☂ (低下)	○

基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	R05実績	R06実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	例月現金出納検査の指摘事項件数（件）	成果	37	22	☀ (向上)	☀ (向上)	○
02	市長選 市議選の投票率（％）	成果	50.21	0	---	---	○
02	各種選挙の管理執行上の問題件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
03	監査による指摘事項等の措置率（％）	成果	100	100	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	情報公開請求における不服申立による変更件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
04	個人情報の漏洩件数（件）	成果	1	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
05	戸籍 住民基本台帳の誤記載申し出による事件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○
06	不服申立等により課税誤りになった件数（件）	成果	0	0	☀ (向上)	☀ (向上)	○

掲載欄に○のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

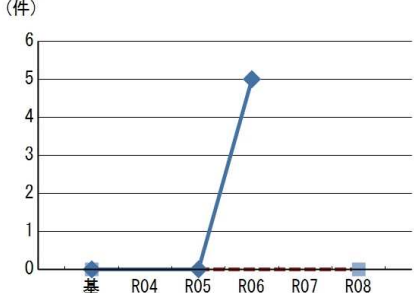
政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

施策 04 公正確実な事務の執行

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 ・ 職員	・ 公正で確実な行政サービスを受けることができます。

施策の成果状況と評価

指標	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	件	0	0	5	0	☔ (低下)
評価	< 状況 > 令和 6 年度の適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数は、5 件で、基準値と比較して 5 件増加、前年度と比較して 5 件増加しました。 < 原因 > 指標値は、山武市職員の分限、懲戒等に関する審査会で「事務処理に関して」の戒告以上の処分件数であり、令和 6 年度は 5 件でした。		(件) 				対前年度 ☔ (低下)
							達成状況 ■ ■ ■ (低)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適正な会計処理

基本事業 02 積極的な選挙啓発

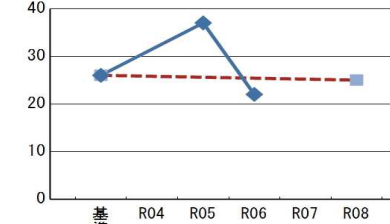
基本事業 03 監査の充実

基本事業 04 情報公開及び個人情報保護の推進

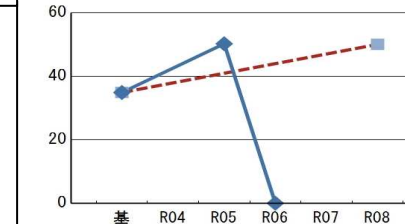
基本事業 05 適正な戸籍・住民基本台帳事務管理

基本事業 06 公平・公正な課税

基本事業01 適正な会計処理

指標	例月現金出納検査の指摘事項件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		件	26	37	22	25	
評価	【会計課】	(件)					(向上)
	< 状況 > 令和 6 年度の例月現金出納検査の指摘事項件数は22件で、基準値と比較して 4 件減少、前年度と比較して15件減少し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 職員を対象とした財務会計事務説明会の開催の他、処理に誤りがあった職員に対し、個別に説明を行ったことなどにより、正しい事務処理を理解している職員が増加したことが要因であると考えます。						 対 前年度  (向上) 達成 状況  (達成)

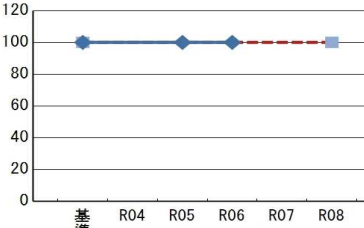
基本事業02 積極的な選挙啓発

指標	市長選・市議選の投票率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
		%	34.87	50.21	0	50	
	【選挙管理委員会事務局】	(%)					
評価	< 状況 > 令和 6 年度の市長選・市議選の投票率は、取得不能です。 < 原因 > 令和 6 年度は、市長選・市議選ともに執行されませんでした。						達成 状況

基本事業02 積極的な選挙啓発

指標	各種選挙の管理執行上の問題件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【選挙管理委員会事務局】	件	0	0	0	0	
評価		(件)					(向上)
	< 状況 > 令和6年度の各種選挙の管理執行上の問題件数は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。						対 前年度
	< 原因 > 令和6年度は、令和6年10月27日執行の衆議院議員総選挙、令和7年3月16日執行の千葉県知事選挙が実施され、投票事務・開票事務の事務従事者が適正な事務を執行していることが要因です。						
							達成 状況
値							
							(達成)

基本事業03 監査の充実

指標	監査による指摘事項等の措置率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対 基準値
	【監査委員事務局】	%	100	100	100	100	
評価	< 状況 > 令和6年度の監査による指摘事項等の措置率は100%で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 監査等の結果、是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われ、すべて措置が講じられたことが要因です。	(%) 					(向上)
							対 前年度
評価							
		(向上)					
評価							達成 状況
							
評価							(達成)

□ 基本事業の成果状況と評価

基本事業04 情報公開及び個人情報保護の推進

指標	情報公開請求における不服申立による変更件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	件	0	0	0	0	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の情報公開請求における不服申立による変更件数は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 開示請求時に該当となる公文書の特定を行っており、開示請求者の求める公文書の開示等につながっていることが要因と考えられます。	(件)					(向上)
							対前年度
							☀️ (向上)
							達成状況 🏰 (達成)

基本事業04 情報公開及び個人情報保護の推進

指標	個人情報の漏洩件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【総務課】	件	0	1	0	0	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の個人情報の漏洩件数は0件で、前年度と比較して1件減少し、基準値と同数となり、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 個人情報の漏洩件数は0件で、職員による個人情報の取扱いが適正に行われていることが要因であると考えられます。	(件)					(向上)
							対前年度
							☀️ (向上)
							達成状況 🏰 (達成)

基本事業05 適正な戸籍・住民基本台帳事務管理

指標	戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【市民課】	件	0	0	0	0	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の戸籍・住民基本台帳の誤記載申し出による事件数は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 戸籍・住民基本台帳の誤記載を発生させないために、異動等について複数人でチェックを行い、適正に処理が行われていることが要因です。	(件)					(向上)
							対前年度
							☀️ (向上)
							達成状況 🏰 (達成)

基本事業06 公平・公正な課税

指標	不服申立等により課税誤りになった件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	めざそう値 (R08)	対基準値
	【課税課】	件	0	0	0	0	☀️
評価	< 状況 > 令和6年度の不服申立等により課税誤りになった件数は0件で、前年度と同様、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 課税客体を的確に把握し、適正な賦課が実施されたことが要因です。	(件)					(向上)
							対前年度
							☀️ (向上)
							達成状況 🏰 (達成)